

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
1.NPO法人SDS家族の会	49 (44～49)	<p>子どもに暖かい心を育む運動「私たちの社会の未来は子どもたちにかかっている、子どもたちが暖かい心を持った大人に育つためには、3歳までの子どもの時期に親から愛される体験が必要、といった認識を、赤ちゃんを亡くした家族らによる行進と識者による講演会でアピールする。</p> <p align="right">2004年</p> <p>3月～6月、「シルクロードランニングジャーニー（イベント）」の報道で国内不特定大多数に。親子が参加する行進の第1回を横浜で11月1日に実施。行進に30名、講演会に200名参加。新聞、テレビなどで大いに取り上げられた。</p>		<p>「日本版マーチオブタイム 子どもに暖かい心を育む行進」の推進 前年に続き、拡大（私たちの社会の未来は子どもたちにかかっている、子どもたちが暖かい心を持った大人に育つためには、3歳までの子どもの時期に親から愛される体験が必要、といった認識を、赤ちゃんを亡くした家族らによる行進と識者による講演会でアピールする。</p> <p>http://homepage.mac.com/hiro_nishida/index.html 医師、保健専門家、遺族サポート団体を含む一般市民が対象</p> <p>第1回 11月1日 横浜 第2回 4月23日 福島 第3回 6月11日 岩出山町 第4回 6月12日 仙台市 第5回 7月16日 沖縄 第7回 10月29日 高松 第8回 10月30日 松山</p>
2.(社)恩賜財団母子愛育会	46, 48, 49, 50	<p>講習会「地域母子保健と保健師活動」</p> <p>目的：母子保健に対する最新知識を学び今日的な問題に対応する能力を培う 対象：自治体の保健師16名 開催数：1回 効果：母子保健に関する今日的な課題に対応する保健指導技術の修得により、適切な対応が可能となる</p>		
	3, 8, 9, 12, 15, 19, 28, 33, 44, 45	<p>研修会「母子保健専門指導員研修会」 リプロダクティブヘルス 母子保健サービス 児童虐待への対応</p> <p>目的：母子保健の課題と最新情報の修得、問題点の的確な把握及び対応能力の向上 対象：自治体勤務の保健師、助産師、看護師等母子保健関係者98名（延）開催数：3回 効果：母子保健の課題と最新情報に関する知識・技術の修得により、母子保健専門指導者の育成に寄与</p>		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
2.(社)恩賜財団 母子愛育会	44, 45, 46, 47, 58	セミナー「児童虐待 発生を予防するために 発見と対応」 目的 :児童虐待を未然に防ぐための支援のあり方を考え、カウンセリングの基本を習得させる 対象 : 保健師、看護師等 57名 小児科医、産婦人科医等 26名 開催数 :2回 効果 :虐待の発見、対応、家族への支援のあり方等虐待全般にわたる知識・技術の修得により虐待に関する予防技術の向上や支援の向上を図る		
	37, 38, 44, 46, 48, 49, 55, 60	セミナー「乳幼児健康診査と育児支援」 目的 :乳幼児健診に必要な知識の修得 対象 :自治体の保健師、助産師、看護師 82名 開催数 :1回 効果 :乳幼児健診に必要な知識と、育児支援・生活支援につながる視点と方法について認識を高める		
	45, 47, 49, 58, 60	セミナー「保育士のための母子保健セミナー」 目的 :集団の中で子ども達の健康管理や育児支援に必要な知識の修得 対象 :保育所の保育士、保健師、看護師等 48名 開催数 :1回 効果 :保育所等集団の中で子どもたちの健康管理や育児支援に必要な知識・コミュニケーションを修得しスキルアップを図る		
	55	セミナー「乳幼児期に見られる問題行動」 目的 :乳幼児の発達過程における諸問題の把握と原因について理解を深める 対象 :保健師、看護師、保育士等 97名 開催数 :1回 効果 :乳幼児期の発育、発達過程における諸問題に対応する知識の習得により、より適切な支援が可能となる		
	24, 46, 53, 60	セミナー「低出生体重児の成長と支援」 目的 :低出生体重児、極低出生体重児の成長過程における問題点の把握 対象 :保健師、看護師、保育士等 83名 開催数 :1回 効果 :低出生体重児、極低出生体重児に係わる問題点を学び、母親の育児不安解消への支援を図る		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
2.(社)恩賜財団母子愛育会	45, 60	講習会「子どもの食生活と地域栄養活動のマネジメント」 目的 地域における栄養活動の方向性と栄養士の役割を理解 対象 栄養士 28名 開催数 :1回 効果 :子どもの栄養・食生活を巡る諸問題に対応できる栄養士の育成を図る		
	45, 46, 52, 60	講習会「母子の栄養と食生活」 目的 :母と子の食生活に関する問題点の把握と支援 対象 :自治体や保育所等に勤務する栄養士 58名 開催数 :1回 効果 :子どもの発育過程における食生活に係わる諸問題の把握と支援のあり方についての高度な技術の修得により食生活の改善支援強化を行う		
	15, 19, 20, 23, 24, 25, 44, 52, 53, 60	研修会「周産期医療研修会」 医師コース 看護コース 目的 医師、看護師、助産師に対して新生児・未熟児の診断・治療・看護等の最新の理論と技術、情報を提供 対象 周産期医療に従事している医師、看護師、助産師。医師 58名、看護師等 212名(延) 開催数 :4回 開催(医師 1回、看護師等 3回) 効果 新生児・未熟児の診断治療に関する最新の知識と技術を習得させより高度な医療と看護を提供		
	45, 46, 47, 48, 49	研修会「愛育班長研修会」 目的 愛育班員として必要な知識の習得 対象 登録愛育班の班長 9名 開催数 :1回 効果 愛育班活動に関する知識の習得及び班活動の活動支援のあり方を習得させ愛育班員の幹部候補生としての意識の向上と指導力の育成を図る		
	45, 46, 47, 48, 49	研修会「愛育班等組織育成者研修会」 目的 愛育班活動の基本とその育成技術を習得させる 対象 愛育班の育成を行っている保健師 5名 開催数 :1回 効果 愛育班活動の基本とその育成技術を習得して、地区組織に不可欠な愛育班活動員の指導育成に寄与		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
2.(社)恩賜財団 母子愛育会	45, 46, 47, 48, 49	研修「母子保健関係者子育て支援研修」 目的 地域住民の子育て支援への意識向上 対象 地域の愛育班員（山梨県419名、兵庫県647名、香川県260名、長崎県405名） 開催数 4回 効果 講演や実践活動の場において愛育班員を対象とした子育て支援に関する知識 指導の向上を図り、地域住民に密着した子育て支援活動の普及と向上		
		愛育班活動に関するリーフレット 目的 愛育班活動の啓発 普及に資するため 対象 全国の愛育班活動関係者に配布、7万部 効果 愛育班活動の啓発 普及		
	45, 46, 47, 58	研修「専門里親養成研修」 目的 被虐待児童等家庭養育の必要な児童を受け入れる専門里親として必要な基礎知識の修得 対象 専門里親希望者98名 開催 通信教育（夏期に東京と京都において各3日間スクーリングを行う） 効果 専門里親を育成することにより被虐待児童に対する支援を強化		
	45, 46, 47, 58	研修「専門里親継続研修」 目的 専門里親としてより高度な知識と実践についての養育技術の修得 対象 専門里親研修認定者・登録者29名 開催 スクーリング1回 効果 より高度な養育技術と知識を習得することにより、被虐待児童の養育問題に適切に対応可能		
	15, 46, 48, 53	母親学級等の開催 ・母親学級（妊産婦指導、妊産婦対象、週1回開催） ・母と子のふれあい講座（育児講座、親と子対象、週1回開催） ・家族立ち会いクラス（出産立ち会い講座、夫対象、週2回開催） ・うさぎの会（極低出生体重児のケア、原則2～3歳児 家族対象、月1回開催） ・タッチケアクラス（赤ちゃんとお母さんのふれあい、両親と赤ちゃん対象、週1回開催） ・マタニティピクス（妊婦の運動講座、妊婦対象週4回開催）		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
2. (社)恩賜財団 母子愛育会	45～50, 55, 58	質問用紙頒布 (子ども総研式-子育て支援質問紙) 内容: 育児不安の軽減を図る目的で育児不安の関連要因を評定できる質問紙を頒布 対象: 保健センター、医師、研究者等		
		情報提供 「愛育ねっと」年2回「母子保健情報誌」を発行予定 内容: 子ども家庭福祉に関する各種情報の提供（「愛育ねっと」による情報提供を含む） 対象: 子ども家庭福祉関連者（機関、研究者等）		
3. (財)家庭保健生活指導センター	49	母子保健相談室 目的・内容: 育児不安の軽減と解消 対象: 妊産婦、子育て中の保護者を対象に延べ約20万人 開催数: 約12,000回程度開催 効果: 身近に相談相手の少ない状況の中、育児不安の解消に大いに寄与したと思われる。	49	母子保健相談室 目的・内容: 育児不安の軽減と解消 対象: 妊産婦、子育て中の保護者を対象に延べ約20万人 開催数: 約12,000回程度開催
	46	リーフレット「子育て相談室」 目的・内容: 育児不安の軽減と解消 対象: 妊産婦、子育て中の保護者を対象に延べ約14万人 配布数: 142,000部 効果: 産後うつや育児不安の解消に大いに役立った。		
5. 子どもの心・体と環境を考える会	その他 (子どもの心と身体の健全な発達に関する学際的なエビデンスの集積)	研究会誌「子どもの健康科学」第4巻2号発行 目的・内容: 第2回テーマ別研究会（「研究方法立案ベーシック」質的研究）について、演者が論文化した研究会誌を作成 対象: 本会会員（医療・教育・福祉・その他の多分野に及ぶ）に配布。一部の図書館に謹呈 配布数: 350部を発行、配布 効果: 実証的研究の基礎となる方法論について、それぞれの立場において認識を高めることができた	その他 (子どもの心と身体の健全な発達に関する学際的なエビデンスの集積)	研究会誌「子どもの健康科学」の発行 (第5巻2号・第6巻1号) 目的・内容: 第5巻2号は「ストレスマネジメント教育」軽度発達障害」に関するテーマ別研究会の報告を含む予定。第6巻1号は第7会学術大会特集を予定 対象: 本会会員（医療・教育・福祉・その他の多分野に及ぶ）に配布し、一部の図書館に謹呈予定 配布数: 350部を発行、配布予定

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
5.子どもの心 体と環境を考える会	その他（子どもの心と身体の健全な発達に関する学際的なエビデンスの集積）	第6回学術大会開催 メインテーマ：子どもの心 体と環境をもっと健康にしよう 目的・内容：平成16年12月4日（土）5日（日）、長嶋正實大会長（あいち小児保健医療総合センター：センター長）の下で開催。シンポジウム2つ 講演2つ 一般演題18題の他、研修会が行われた。 対象：本会会員に加え、非会員も参加。医療・教育・福祉・その他の多分野に及び、のべ300人が参加した 開催数：1回 効果：子どもの発達や母親の不安について、様々な分野での実践や臨床研究が報告され、会員相互の理解が深まった	その他（子どもの心と身体の健全な発達に関する学際的なエビデンスの集積）	第7回学術大会開催 目的・内容：平成17年12月3日（土）4日（日）、奥山眞紀子大会長（国立成育医療センター：こころの診療部長）の下で開催予定。シンポジウム・特別講演・セミナーを企画し、一般演題も募集する 対象：本会会員と非会員。医療・教育・福祉・その他の多分野から、のべ300人の参加を見込んでいる 開催数：1回
	その他（子どもの心と身体の健全な発達に関する学際的なエビデンスの集積）	研究会誌「子どもの健康科学」第5巻1号発行 目的・内容：昨年度第5回学術大会の講演およびシンポジウム（子どもの危機を突破せよ「生き生きとした子どもを育む環境作り」）について演者が論文化した研究会誌を作成 対象：本会会員（医療・教育・福祉・その他の多分野に及び）に配布。一部の図書館に謹呈 配布数：350部を発行、配布 効果：前回大会で報告された実践や知見を、学会誌の形で広く伝達することができた	その他（子どもの心と身体の健全な発達に関する学際的なエビデンスの集積）	テーマ別研究会の開催 目的・内容：平成17年4月に第3回を開催（テーマは「ストレスマネジメント教育」「軽度発達障害」）。平成17年度中に第4回も開催予定（テーマ未定） 対象：本会会員と非会員。医療・教育・福祉・その他の多分野から、各回50人の参加を見込んでいる 開催数：2回
6.特定非営利活動法人児童虐待防止協会	45	フォーラム「法改正で何が変わるか？」 目的・内容：児童虐待防止法の改正を受けて、それぞれの機関の役割や責務が拡大することを認識し、更に有機的な虐待防止システム・ネットワークのあり方を考える。 対象：虐待防止に関する関係機関職員、専門職 75名 開催数：1回開催（大阪府） 効果：虐待防止法の改正の目的を適正に理解し、新しい支援のあり方に向かって、関係機関の役割と連携を再認識することができた。	45	フォーラム「おかあさんをひとりにしないで」 目的・内容：ビデオ上映「おかあさんをひとりにしないで」、講演「虐待の連鎖をのりこえて、回復へのみちのり」。虐待防止につながる子育て支援のあり方を考える。 対象：虐待に関わる専門職 約130名 開催数：1回開催
	45	研修会「Child Abuse研究会」 目的・内容：6年度年間共通テーマを「子ども虐待に対する予防・介入・保護・治療に関する新しい動き」と定め、子ども虐待への理解を深め、支援のあり方を共に学ぶ場を提供する。 対象：虐待に関わる専門職（保健、医療、福祉、教育、法曹）及び学生 352名 開催数：4回開催（大阪府） 効果：法改正を受けて、親への支援、子どもへのケア、ネットワーク支援のあり方等について先駆的な取組みを学ぶことができた。	45, 47	研修会「Child Abuse研究会」 目的・内容：非行の背景にみえる児童虐待への理解、親子再統合をめざす児童相談所の取組み等新たに虐待への取組みに対する理解を深める学習の場と研究・実践報告の場を提供する。 対象：虐待に関わる専門職、学生延べ約300名 開催数：3回開催

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
6.特定非営利活動法人児童虐待防止協会	45	講演会「子どもの虐待とトラウマ・その心理と治療」 目的・内容：アメリカよりヴァン・デア・コルク氏を招聘、虐待を受けた子どものこころのケアについて、より専門的な理解を深めることにより、実践的な力をつける。 対象：虐待に関わる専門職及び学生 180名 開催数：1回開催（大阪府） 効果：ビデオ、パワーポイントによる子どもの治療場面等を学習する機会を得たことで、より実践的に子どものケアについて理解を深めることができた	45	研修会「大阪府児童虐待問題 市町村児童福祉主管課職員研修」 目的・内容：児童福祉法の改正を受けて、市町村の役割が拡大。法の趣旨の徹底と市町村職員の相談支援スキルの向上。 対象：市町村児童福祉課職員、ネットワーク関係職員延べ約1000名 開催数：10回開催予定
	45	研修会「夏季オープン講座基礎編・実践編」 目的・内容：虐待についての理解を深め、早期発見、対応、支援のあり方を学び、日々の教育実践に役立つ研修とする。 対象：学校の教職員 基礎編 66名 実践編 61名 開催数：2回開催（大阪府） 効果：新しく基礎編終了者に対して「実践編」を実施したことによって、学校における発見、支援をより実践的に学ぶことができた。	45	研修会「夏季オープン講座＜子ども虐待＞」（入門編）（実践編） 目的・内容：入門編：虐待の基礎知識の獲得、虐待に関わる専門職としての心構えをつくる。実践編：各領域ごとに専門職としての技量の向上をめざす。今年は教職員対象。 対象：虐待に関わる専門職 入門編 約200名 実践編 約100名 開催数：入門編 1回（1日） 実践編 2回（2日）
	45, 47	リーフレット「守りたい、子どもの笑顔と未来！」 目的・内容：子どもの虐待防止を訴えるとともに、子育てに躓き、虐待に悩む親や虐待を受けて苦しんでいる子どもや虐待を目撃した市民の人たちに対して、「子どもの虐待ホットライン」の利用を呼びかける内容。 対象：一般（関係機関の窓口、及び講演会、研修会で配布） 配布数：5000枚 効果：子育てに悩んだり、虐待をしそうと不安に陥っている母親に対し、ホットラインの利用を呼びかけることによって虐待の第1次・第2次予防が期待できる。	45, 47	「30時間電話相談マラソン」事業 目的・内容：夜間や父親からの相談等、電話相談の新しいニーズの発掘と分析。また、全国ネットワークの他団体にも呼びかけ、虐待防止月間に全国規模で実施。虐待防止の啓発に努める。結果を報告書としてまとめる。 対象：一般の親 推定相談件数50件 開催数：1回（虐待防止月間中）
	47	電話相談事業「子どもの虐待ホットライン」 目的・内容：孤立的な状況でストレスを抱えながら子育てをしている母親からのSOSに応じ、子育てへの支援を強化する。 対象：一般の親 開催数：年間3000件 効果：年々複雑多様化する相談内容に対し、精神科医との連携や地域関係機関とのネットワークを強化することによって、虐待防止に効果をあげている。	45, 47	電話相談事業「子どもの虐待ホットライン」 目的・内容：孤立的な状況でストレスを抱えながら子育てをしている母親からのSOSに応じ、子育てへの支援を強化し、虐待の予防を推進する。 対象：一般の親 推定相談件数3000件 開催数：土・日、祝祭日を除く毎日

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
6. 特定非営利活動法人児童虐待防止協会	45, 47	冊子発行「子どもの虐待ホットラインからみる母親の姿」 目的・内容：ホットラインに架かってくる相談内容を集計、分析することにより最近の母親の子育ての現状、傾向に対する理解を深める。 配布数：300部印刷。府下の子ども家庭センター、保健所、家庭児童相談室に送付 効果：電話相談のスキルアップにつながった。関係機関に結果を冊子にまとめたことにより、子育てにおける虐待のリスク要因について共通の理解をもつことができた。	45, 47	妊娠中の母親にみられる虐待リスクに関する分析事業 目的・内容：子どもの虐待ホットラインにかかってくる妊娠中の母親のストレスをアセスメントし、分析することにより、虐待予防の観点から対応策を考える。 対象：ホットラインにかけてくる妊娠中の母親
	45	冊子発行「電話相談に役立つ社会資源集」 目的・内容：電話相談の役割のひとつに、地域の支援機関に「つながり」ことが重要。相談者に的確な情報を提供したり、直接地域機関に紹介する場合に、社会資源集は必携となる。市町村合併、組織変革を経て最終的にまとめられた全国版は、協会スタッフが自ら編集した労作。 対象：都道府県児童福祉主管課、全国子ども虐待防止民間団体ネットワーク、全国児童家庭センターに配布 配布数：500部印刷 効果：最近のめまぐるしい状況の変化に、組織が改編されたり、名称が変わることも多く、最新の社会資源集は、相談担当者にとっては、身近に活用できるものとして役立つ。	47, 58	マザーグループ支援事業 目的・内容：虐待への移行や虐待の進行を予防する為に、グループワークの手法を用いて子育て支援を強化する。 対象：子どもを虐待していると思う親等育児困難な親 開催数：10ヶ所の保健所、保健センターのグループにスタッフを派遣。
	58	マザーグループ支援事業 目的・内容：子育て困難な母親を対象として、虐待への移行や虐待の進行を予防する為に、グループワークの手法を用いて子育てを支援する。 対象：子どもを虐待していると思う母親等育児困難な親 開催数：10箇所の保健所、保健センターへスタッフ派遣 効果：子育て不安や虐待のリスクを抱える母親に対するグループワークの有効性が確認できた。	47, 58	マザーグループ手引書の発行 目的・内容：マザーグループ（大阪方式）の手引き書を作成することにより、マザーグループの普及と適正な運営をめざす。 対象：マザーグループに関わる専門職 配布数：マザーグループ担当者及び関心のある人に配布 300部印刷
	58	交流会「母親のケアを考える会」 目的・内容：今回は、子どもグループに焦点を当て、講演「乳幼児期の母子関係と子どもへの影響」を通して、子どもへの関わり方を実践的に学ぶ場を提供する。 対象：マザーグループ関係者（保健師、心理士、保育士等） 開催数：1回開催（大阪府） 効果：マザーグループ事業の中の子どもグループの重要性を認識し、母子関係の改善が母親の虐待リスクの軽減につながることを学習できた。		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
6.特定非営利活動法人児童虐待防止協会	47	冊子作成「若年の親、ひとり親、精神障害を持つ親のペアレンティング」 目的・内容：3年間「ペアレンティングを支援する会」で学習・論議してきたものを、冊子としてまとめ、それぞれの領域の親支援に役立つ冊子をつくる。 対象：子育て支援、虐待防止に関わる機関の配布 効果：母子保健、看護、保育等それぞれの領域でペアレンティングを実施する際、身近な手引書として役立つものとした。		
	45	ビデオ作成「おかあさんをひとりにしないで」 目的・内容：子育ての孤立化、ストレスの増大等の状況の中で、虐待すれすれの育児が日常化している。当事者である子育て中の母親の生の声を取材し、実態に即した支援のあり方を考える。 対象：子育て支援、虐待防止に関する支援者向けの研修に使用する。 効果：「聴く」、「つなぐ」、「ネットワーク支援」の大切さを当事者の声に基づきながら、多様な支援の方法を映像で紹介することにより、納得しやすいものとした。		
9.全国児童相談所心理判定員協議会	44, 45, 47, 58	会報発行 年3回 目的・内容：会報発行による情報交換 対象：全国児童相談所児童心理司 配布数：800名程度 効果：全国児童相談所における様々な取り組みについて、情報交換し参考にした。	44, 45, 47, 58	会報発行年3回 目的・内容：会報発行による情報交換 対象：全国児童相談所児童心理司 配布数：800部程度配布
10.特定非営利活動法人 全国市町村保健活動協議会	44, 45, 58	機関誌「全保協ニュース」の発行 目的・内容：課題に関する情報提供や対談を掲載するほか、地方日刊紙掲載の関連記事の紹介をおこなった。 対象：市町村保健師等 全国15,000名 配布数：年間6回発行 15,000部 効果：市町村保健師の資質の向上と自己啓発を促進し、事業推進にあたっての連携の必要性和職務の認識を高めることができた。	44, 45, 58	機関誌「全保協ニュース」の発行 目的・内容：課題のテーマを対象に情報伝達を図る。 対象：市町村保健師等 全国 15,000名 開催数：年6回 各回15,000部配付

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
10.特定非営利活動法人 全国市町村保健活動協議会	44, 45, 58	専門研修会 メインテーマ 「住民に期待される市町村保健活動」 目的・内容：全国の市町村保健師等リーダーを対象に専門研修を実施し、講演では「虐待防止と保健師活動」をとりあげた。またグループ討議では「子どもの虐待予防への取り組み」を課題の一つとし、事例発表や意見交換を実施し、厚生労働省但馬専門官の助言者を得て、効果的な研修をおこなった。 対象：市町村保健師等 2日間延べ 約350名 開催数：年1回（17年3月3～4日） 効果：市町村保健師の資質の向上と自己啓発を促進し、事業推進にあたっての連携の必要性と職務の認識を高めることができた。	44, 45, 58	専門研修会 目的・内容：講演、シンポジウム、グループ討議などのテーマにとりあげ、その成果を広く広報する。 対象：市町村保健師等 2日間延べ 400名 開催数：年1回 東京都内にて開催
	44, 45, 58	各地方協議会の自主研修 目的・内容：各道府県において市町村保健活動従事者を対象に自主研修を実施。 対象：38道府県 約16,000名 開催数：一部助成を行う 効果：市町村保健師の資質の向上と自己啓発を促進し、事業推進にあたっての連携の必要性と職務の認識を高めることができた。	44, 45, 58	調査研究 目的・内容：市町村保健活動の事例調査等の中で関連項目をとりあげ、報告書にまとめ情報を提供する。 対象：課題等検討中 開催数：報告書作成配付
			44, 45, 58	地方研修会 目的・内容：地方で実施する研修テーマの中に課題項目をとりあげる。 対象：38道府県 開催数：一部助成

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
11. 全国社会福祉協議会	44, 45, 46, 47, 49	<p>社会福祉協議会における児童虐待防止事業へ助成 目的・内容 都道府県 指定都市社会福祉協議会及び市区町村社会福祉協議会が行う児童虐待防止事業に対し事業費助成を実施。実施事業としては、民生委員・児童委員、児童福祉施設等と連携した子育て支援に関する研修、子育てサロン活動をはじめ、児童虐待の早期発見や対応、また、その予防に資する各種相談活動等。 対象：a 都道府県 指定都市社会福祉協議会（研修会やセミナー事業に対する助成。研修事業には5府県合計で495名が参加。）/ b 市区町村社会福祉協議会（地域の関係機関による「児童虐待防止連絡会」を設置し、それぞれの地域で子育てサロンなど190もの多様な事業を実施。） 開催数 a 都道府県 指定都市社会福祉協議会 5府県 / b 市区町村社会福祉協議会 29市区町村 効果：それぞれの社会福祉協議会で、児童虐待防止の取組に関わる契機となった。すべての助成事業が、今後とも引き続き事業実施を予定しており、事業の定着が期待される。</p>	44, 45, 46, 47, 49, 58	<p>社会福祉協議会における児童虐待防止に関する事業の促進 目的・内容 都道府県 指定都市社協では、特に全県（市）的な児童虐待の防止を目的とする事業、また、市区町村社協では、より地域に密着した虐待の予防、早期発見、個別支援策に関わる事業の推進を目的とする事業に対し助成する。（社会福祉協議会活動振興事業） 対象 都道府県 指定都市社協および市区町村社協 開催数：10社協程度</p>
	44, 46, 48, 49	<p>「わがまちならでは」の児童委員活動の展開をめざして」～児童委員活動の手引き30集～の発行 目的・内容 全国民生委員・児童委員協議会では、児童委員・主任児童委員等が推進役となって、地域の関係機関・団体と協働して地域の実情に応じた子どもと子育て家庭を支援する活動を展開する全国キャンペーン「全国児童委員活動強化推進方策第2次アクションプラン（期間：平成16年4月～平成19年11月）」を展開しており、その児童委員向けの推進の手引書を作成した。 配布先 全児童委員（約23万人）、都道府県・市区町村行政および社協（約6000か所）等 配布数 作成部数 236,000部 効果 各地域で、本手引書を参考書として研修会や学習会が開かれたり、新たに地域で児童委員が子どもと子育てを支援する活動を展開したり、すでに行われている活動を見直す際の参考書として活用され、各地で新たに子どもと子育て支援活動が展開されてきている。</p>	44, 45, 46, 47, 49	<p>児童委員による課題を抱える親子への個別支援の手引き（仮称）の作成 目的・内容 上記「児童委員による課題を抱える親子への個別支援研究」により明らかになった、児童委員・主任児童委員が児童虐待・育児不安・不登校・非行等の課題を抱え親子への個別支援を行う際の支援のポイントや、具体事例とその対応方法などをまとめた手引書を作成し配布する。 対象 配布先 全児童委員（約23万人）、都道府県・市区町村行政および社協（約6000か所）等 配布数 236,000部</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
11. 全国社会福祉協議会	44, 45, 47, 58	<p>児童委員・主任児童委員のための子ども虐待対応の手引き(改訂版)」の発行</p> <p>目的・内容: 子ども虐待の防止および早期発見・早期対応をめざし、児童委員・主任児童委員・民児協が「住民の立場になって」活動していくため、虐待に関わる基礎知識や、その対応方法、支援のポイント等をまとめた本手引書を作成し配布した。</p> <p>対象・配布先: 全児童委員(約23万人)、都道府県・市区町村民児協事務局(約3000か所)等</p> <p>配布数: 作成部数 235,000部</p> <p>効果: 各単位(市区町村)民児協等において、本手引書を参考書として研修会や学習会が開かれたり、児童委員・主任児童委員が実際に子ども虐待事例に関わる際の参考書として活用されている。</p>	46, 49	<p>社会連帯による子育て環境整備への取り組み</p> <p>目的・内容: 全保協の重点方針として「子育てへの不安、負担感を抱える人への支援」をより充実したものにしてい取り組みをこれからの保育所の重要な使命と位置づけて取り組みをすすめる。具体的な取り組みとしては、会報「ぜんほきょう」や全保協のホームページ、研修会のプログラムなどに位置づけて様々な機会を利用した取り組みを行う</p> <p>対象: 会報=会員保育所 21,000か所 ホームページ=会員保育所および一般市民を対象</p>
	46, 49, 50, 51	<p>「社会全体でこれからの子育てを支えていこうキャンペーン」の実施</p> <p>目的・内容: 全国保育協議会が主体となって、子育てを楽しめる社会づくりのために、社会全体で子育てを支えていくことの重要性(次世代育成支援の理念)について、広く社会の理解を求めている取組の実施</p> <p>対象: 「子育て相談 援助技術専門研修会」の中の「シンポジウム 地域の顔が見える子育て支援」を模様を収録したビデオを21,000本作製し、解説パンフレットとともに会員保育所に配付。</p> <p>会報「ぜんほきょう」(月刊)の紙面を活用し、各保育所が地域で社会全体で子育てを支えて行くキャンペーンに取り組み際に活用できるチラシの版下を提供する。</p> <p>配布数: 啓発ビデオ(21,000本) 会報の紙面を利用したPRチラシ版下提供(25,000部×8回)</p> <p>効果: 保育所が主体的に次世代育成の必要性を地域住民や関係者に理解を広げること契機となった。</p>	45, 46, 49	<p>「地域で子育てを進める活動フォーラム」(仮称)の実施</p> <p>目的・内容: 各地で進められている当事者主体の活動組織(サロン活動・ひろば事業・NPOによる活動)による実践例等を紹介し、市町村単位で子育て支援を進める参考とする</p> <p>対象・参加者: 約300名 対象者: 市町村社会福祉協議会で子育て支援を推進する担当者、NPO・ボランティア団体関係者等</p> <p>開催数: 1回開催(東京近郊)</p>
12. 全国情緒障害児短期治療施設協議会	45, 47	<p>職員研修会心理部会「虐待家族の再構成に向けて」</p> <p>目的・内容: 「サイズ・オブ・セーフティー アプローチ」のワークショップ</p> <p>対象: 児童福祉施設職員</p> <p>開催数: 1回(静岡県)</p> <p>効果: 家族面接の際に参考になる技法の習得ができた</p>	57	<p>全国情緒障害児短期治療施設協議会施設長会・総会</p> <p>目的・内容: 行政説明や協議による施設新設のために必要な情報提示</p> <p>対象: 施設開設予定の自治体関係者など開設準備担当者</p> <p>開催数: 2回(横浜 兵庫県)</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
12.全国情緒障害児短期治療施設協議会	45	職員研修会生活部会 目的・内容 講演、ワークショップ、施設退園生によるシンポジウム 対象 児童福祉施設職員 児童相談所職員 開催数 1回（広島県） 効果 当事者の立場に立った処遇を考えることができた		
	57	全国情緒障害児短期治療施設協議会施設長会、総会 目的・内容 行政説明 課題協議 対象 情緒障害児短期治療施設施設長 情緒障害児短期治療施設 開設予定の自治体 施設関係者 開催数 2回（横浜 名古屋） 効果 情短の現状把握 開設に必要な情報収集		
	45, 47	全国情緒障害児短期治療施設職員研修会 目的・内容 行政説明 事例検討 ワorkshop 講演 対象 児童福祉施設職員 児童相談所職員 教員 開催数 1回（大阪府） 効果 子どもの処遇に必要な多方面にわたる情報を収集することができた		
13.全国助産婦教育協議会	46, 49, 52 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減」に関する助産師教育内容の検討	全国助産師教育協議会NEWS LETTER No45 2004.11.16 目的・内容 関連記事として、佐久市子育て支援施策について、子育て支援施策の現状や子育て支援総合推進モデル市町村事業内容などの紹介記事を掲載した。 対象 全国の助産師教育関係者 配布数 NEWS LETTER年4回発行 発行部数 500部 効果 子育て支援施策の現状や子育て支援総合推進モデル市町村事業内容に関する情報提供の一つとなった。	46, 49, 52 助産師教育内容の検討	総会の開催；委員会活動報告 2005.5.21-22 目的・内容：子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減」に関する助産師教育内容の検討 対象 全国助産師教育関係者 機関会員数 90校 個人会員数 347名
			46, 49, 52 助産師教育内容の検討	NEWS LETTERの発行 目的・内容 関連記事の掲載 対象 全国助産師教育関係者 機関会員数 90校 個人会員数 347名 配布数 500部

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
16. (社)全国保健センター連合会	46, 47, 48, 49, 58, 59	親と子のこころの健康づくり中央研修会 - 次世代育成支援推進のために - 内容 :次世代育成支援推進を目的として、保健センターを拠点とする子育て支援事業・児童虐待予防等、子どものこころの問題と対応策について研修する。 対象 :市町村保健師、地域の母子保健関係者等 1103名 開催数 :1回開催 (東京都) 効果 :各講義や市町村における子育て支援事業の報告、参加者相互の情報交換を通じ、主要なテーマである「育児不安の解消と子どものこころの安らかな成長の促進」について、研修を行うことができた。	46, 47, 48, 49, 58, 59	親と子のこころの健康づくり中央研修会 内容 :保健センターを拠点とする子育て支援推進を目的として、乳幼児期の育児支援、食生活、遊び、親子ふれあいの意義等、事例検討や討議を通じ、これからの支援に役立てる。 対象 :市町村保健師等 100名 開催予定 :1回開催 (東京都)
	46, 47, 48	ブロック別母子保健事業担当者研修会 内容 :第4課題を母子保健関係者に周知徹底し、地域における育児支援のレベルアップを進める。 対象 :市町村保健師等 94名 開催数 :6回 (北海道、宮城県、群馬県、奈良県、香川県、佐賀県) 効果 :担当者(参加者)に対し具体的な母子保健事業の推進方法等を研修することで、各市町村での母子保健事業活性化への布石となった。	46, 47, 48	ブロック別母子保健事業担当者研修会 内容 :第4課題を母子保健関係者に周知徹底し、地域における育児支援のレベルアップを進める。 対象 :市町村保健師、地域の母子保健関係者等 1000名 開催予定 地区 (5地区) 北海道、栃木県、石川県、鳥取県、長崎県
	45, 46, 47, 48, 49, 58	東西ブロック別「親と子のいきいき学級セミナー」 内容 :市町村における「健やか親子21」地方計画の効果な展開を図る。 対象 :市町村保健師等 40名 開催数 :1回開催 (大阪府) 効果 :市町村での地方計画策定・推進・評価にあたり、グループワークや事例検討を交えた実践的な研修を行ったことで、効率的な取り組みへの足がかりとなった。	45, 49, 60, 61, 62	「市町村保健計画21」中央研修会 - 健康日本21・健やか親子21推進に向けて - 内容 :市町村における「健やか親子21」地方計画の効果な展開を図る。 対象 :市町村保健師等 40名 開催予定 :1回開催 (東京都) 前期 後期

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
16. (社)全国保健センター連合会	45, 49, 60, 61, 62	「市町村保健計画21」中央研修会 - 健康日本21・健やか親子21推進に向けて - 内容：親と子のこころの問題をテーマとして 絵本と出会う親子ふれあい事業」や「遊びの教室」等、保健センターにおける母子保健事業の目的及びプログラミング・実習等の子育て支援の具体的方法を研修する。 対象：市町村保健師等110名 開催数：2回開催（北海道、佐賀県） 効果：健やか親子21を踏まえたシンポジウムを設け、さまざまな立場からの具体的な取り組みを紹介 議論し、地域における子育て支援について熟考する場となった。	50, 51	父親育児推進フォーラム - いきいき学級セミナー - 内容：夫婦で子育てするための環境作りを推進するために、特に父親役割の重要性を広げる場として、色々な立場から父親育児を考えるフォーラムと併せて、市町村で実施されている両親学級の効果的なプログラム等を検討する。 対象：市町村保健師等 約200名 開催予定：2回（東京都・大阪府）
			50, 51	父親育児参加推進事業・乳幼児の父親向けリーフレットの制作配布 内容：保健センターでの育児支援として、父親のためのパンフレットを制作配布して、育児における父親役割について知識の普及を図る。 対象：乳幼児を持つ父親 配布先：市町村保健センター
				リーフレット作成・配布「お産のためのエクササイズ」「もぐもぐごっくん」「おなかずいた」「ごはんまだ？」絵本と出会う」 内容：市町村保健センター等への配布により妊娠・育児期の有効な指導の支援をはかる。 配布先：市町村保健センター、研修会参加者等
17. 全国保健婦長会	45, 46, 49, 54, 55	調査研究「児童虐待の予防の推進及び新たなニーズに対応する母子保健事業に関する研究」 目的・内容：市町村における児童虐待予防対策及び母子保健事業の実施状況を把握し、虐待予防を推進するにあたっての課題や新たな母子保健事業のあり方を研究する。 対象：特別区、指定都市、中核市、政令市、市町村 効果： ・母子保健活動が、疾病の早期発見中心から児童虐待を含む養育支援への広がりが明らかになったこと。 ・課題が明らかになった。 （主な課題） ・母子健康手帳交時の保健指導の充実 学校および地、新生児訪問の強化が望まれる。 ・情報の一元化を含めた有効な健診等未受診者フォローの検討が必要 ・虐待事例への介入等実践的研修が必要	45, 46	児童虐待予防に関する調査研究を予定。 目的・内容：平成16年度実施した調査で明らかになった課題等に焦点をあてた内容 対象：未定 開催数：未定

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
20. (社)日本医師会	49	出生前小児保健指導(プレネイタル・ピジット)事業の推進 病後児保育(乳幼児健康支援一時預かり事業)の推進	49	出生前小児保健指導(プレネイタル・ピジット)事業の推進 病後児保育(乳幼児健康支援一時預かり事業)の推進
21. (社)日本栄養士会	46, 49, 60	子どもの食事・親子連続講座」(3回連続講座) 目的・内容 食べ物大切に育むと同時に、食の重要性について親子で認識できる機会を設け、正しい食習慣形成や健全な親子関係への支援を行う 対象 3歳～就学前のお子さんとその保護者約20組 開催数 各県3回連続講座(青森県、富山県、石川県、長野県、三重県、滋賀県、奈良県、沖縄県) 効果 食の楽しさと食の大切さを理解していただくことができた。親子間や同年代の子どもとその保護者とが交流できる機会となり、食事相談も気軽に実施できた。 保育所を利用したことにより、保育所職員の食に対する理解が深められ、さらに、地域の方に保育所を知ってもらうことができ、地域に密着した子育て支援活動を推進するための一つの足がかりとなった。	46, 49, 60	「児童福祉施設におけるクッキング講座」 目的・内容 摂取不足になりがちな栄養素(カルシウム等)の必要性を意識づける機会を設け、健康に役立つ食事づくりの向上を目指す。調理実習 講義 事例報告 対象 児童福祉施設等に勤務している給食担当職員および指導員1会場約30名 開催数 各県2回ずつ実施(秋田県、山形県、群馬県、埼玉県、千葉県、富山県、岐阜県、大阪府、奈良県、和歌山県、鳥取県、愛媛県、熊本県、鹿児島県、沖縄県)
	46, 49, 60	「児童福祉施設におけるクッキング講座」 目的・内容 摂取不足になりがちな栄養素(カルシウム等)の必要性を意識づける機会を設け、健康に役立つ食事づくりの向上を目指す。対象 児童福祉施設等に勤務している給食担当職員および指導員等 開催数 各県2回ずつ実施(北海道、青森県、岩手県、新潟県、山梨県、三重県、滋賀県、兵庫県、奈良県、岡山県、山口県、徳島県、福岡県、大分県、沖縄県) 効果 新メニューの学習や調理技術等、活用の幅をひろげられる機会となった。また、「食育」に関する各種最新情報の習得と他施設の職員や他職種との情報交換により、「食育」の大切さを相互に理解することができた。	46, 49, 60	保育所栄養士における食育の効果について(調査) 目的・内容 栄養士配置保育所で、積極的に「食育」を実践してきた保育所の卒園児保護者を対象に「子どもの食についてのアンケート調査」を実施し、食行動・食習慣・保護者の意識について検証する。また、小学校入学後の食行動・食習慣等についても追跡調査により「食育」の効果を検証する。 対象 平成16年度の保育所年長児童の保護者約500名
22. (社)日本家族計画協会	全般	平成16年母子保健家族計画全国大会(健やか親子21全国大会) 目的・内容 「健やか親子21」を推進するための全国大会 対象 行政関係者・医師・コメディカル及び、健やか親子21の推進関係者 開催数 1回(宮城) 効果 健やか親子21の推進のための啓発になった。	全般	平成17年母子保健・家族計画全国大会(健やか親子21全国大会) 目的・内容 「健やか親子21」の普及啓発 対象 「健やか親子21」の推進関係者 開催 奈良

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
22. (社)日本家族計画協会	45, 46, 48	研修会「ブロック別母子保健事業研修会」 目的・内容：母子保健の推進を図るために、母子保健関係者の資質向上を図る。「虐待」子育て」 対象：母子保健関係者 開催数：5日（宮城、群馬、奈良、香川、九州） 効果：地域情報の発掘によるネットワークの構築		
24. (社)日本看護協会	45	「第3回子ども虐待予防対策交流会」の開催 目的：子供虐待予防に関する情報の共有化 内容：講演「虐待防止の環境づくりと子どもの人権」、パネルディスカッション「児童虐待防止法の改正と虐待予防対策に関わる専門職として」 日時：平成16年11月13日 場所：日本看護協会ビル 対象：医療・保健・福祉の現場で子ども虐待対策に取り組む看護職（参加者176名） 開催数：1日 効果：子ども虐待に対する看護職の役割、援助の原則、援助体制、機関連携のあり方等が明らかになった。	43	研修会「慢性疾患患児の在宅に向けた支援」の開催 内容：病める子どもの家族の特性・家族看護理論・退院調整・外来治療・養育・情報提供・感染対策・安全教育・他職種との協働・協働の実際 対象：看護職、他職種 開催数：2日（定員50名）
	45	研修会「虐待と子育て支援」の開催 目的：現代社会における子育ての現状と子どもの虐待の背景を理解し、子育て支援における看護者の役割を考える。 対象：平成16年9月21・22日 神戸研修センター（参加者103名） 開催数：2日間×1回 効果：子ども虐待に関する看護実践において、問題解決の糸口が明確になった。	44～47, 58	「第4回子ども虐待予防対策交流会」の開催 目的：子供虐待予防に関する情報の共有化を図る。 内容：子ども虐待の予防から、早期発見・早期対応、保護・支援・アフターケアに至る看護者による継続的・包括的支援体制の構築および、関係機関との連携等についてのパネルディスカッションや講演 対象：子どもの虐待予防・支援に関わる看護職120名対象 開催数：1日（定員200名）
			45, 46	「まちの保健室事業成果発表会」の開催 目的：保健・医療・福祉・教育機関が集い、地域の虐待防止力を向上させる。 内容：虐待ゼロのまちづくりをめざす大阪府の病院、子育て中の母親の健康保持増進や育児不安軽減をめざす広島県看護協会等が取組成果を発表する。 対象：看護職、他職種、一般 開催数：1日（定員250名）

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
24. (社)日本看護協会			45, 46	研修会「虐待防止と子育て支援」の開催 内容 現代社会における子育ての現状と虐待・看護者に期待される役割・医療チームと地域との連携/地域資源コーディネートチーム内での安全管理 効果的な役割モデル 対象 看護職 開催数 :1日(定員100名)
			49	「看護者のための子育て支援対策の普及啓発用パンフレット」作成準備(作成は平成18年度) 内容 :パンフレットの内容、配布計画、作成スケジュール等の検討 対象 :看護者
			49	緊急サポートネットワーク事業(展開事業支援)の実施 内容 : 評価委員会の実施 調査研究 好事例集及び研修教材の作成
25. 日本公衆衛生学会	44～47	児童虐待に関する講演会 目的・内容 第63回日本公衆衛生学会総会において「児童虐待」をテーマに「教育講演」を実施 講師 佐藤拓代(東大阪市保健所長) 対象 上記の学会総会参加者 開催数 :1回 効果 :児童虐待防止法の改正にあたり、公衆衛生関係者が今後の課題を整理するのに役立った。	44～47	フォーラムの開催 目的・内容 本学会の第64回総会において「虐待予防フォーラム」を開催する。 対象 :上記の総会参加者(300人程度) 開催数 :1回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
26.(社)日本産科婦人科学会		<p>地方部会担当公開講座 目的・内容:女性のライフサイクルにおける健康支援に関する話題を取り上げ、一般の方への啓発を行う ・女性のための健康講座(思春期の性、内臓症、更年期)(北海道) ・女性の健康を考える(更年期、癌)(青森) ・中高年女性の美容と健康(岩手) 妊娠中のあなたへのちょっとしたアドバイス(山形) ・女性のための健康セミナー1(健康とスポーツ、がん予防)(茨城) 今、摂食障害を再考する(栃木) ・食生活と癌(子宮体癌)(埼玉) ・DVについて学ぶ(千葉) 地域のお産を考える(静岡) 婦人科がん検診(富山) ・母と娘の産婦人科フォーラム(子宮癌、卵巣癌、乳ガン)(石川) 抗癌剤の副作用に立ち向かって(岐阜) 子どもを育てることの楽しさと厳しさ(滋賀) ・女性特有の痛みに対処する? 月経痛、慢性骨盤痛から骨粗鬆症の痛みまで(大阪) ・更年期を美しく健康に(奈良) 体にやさしい治療を求めて(和歌山) ・女性の健康を考える(頸癌検診、性感染症)(鳥取) ・女性のための健康講座(島根) 健康な赤ちゃんを産むために(岡山) ・女性のためのがん予防講座(徳島) みずみずしいお肌と健康を維持する(香川) 第18回性教育セミナー(愛媛) 骨粗鬆症について(高知) ・自分の体と愛する人を大切にするために-性感染症とその影響-(福岡) ・中高年の健康講座(更年期、骨粗鬆症)(佐賀) 他人に聞けない悩み(尿もれ、おりもの・かゆみ、子どもが出来ない)(熊本) ・よい子を産むために(宮崎) ・女性「女性の性感染」(性感染と、子宮癌、不妊、妊娠、青少年期の教育と指導)(沖縄) 対象:一般 総計2,951名+ 開催数:全国28カ所で開催 効果:女性のライフサイクルにおける健康に関する専門的な情報の啓発を図ることができた。</p>		<p>地方部会担当公開講座 目的・内容:女性のライフサイクルにおける健康支援に関する話題を取り上げ、一般の方への啓発を行う テーマ 婦人科がんで死なないためには 安全な出産に向けて 卵巣癌の早期発見と治療(仮題) 岐阜県の性感染症の実態 婦人科癌に関する内容 21世紀の女性の健康(仮題) 癌の撲滅を目指して-子宮癌・卵巣癌の治療の現況- ・女性の健康を考える 女性のための健康講座 婦人科がん検診 性差を考慮した女性医療 卵巣がんについて(未定) 第19回性教育セミナー 対象:一般 開催数:全国30カ所で開催予定</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
28.日本思春期学会	13, 45～47, 60, 61	<p>特別講演 疾走能力の発達～走り始めから思春期まで」 教育講演 「思春期の婦人科腫瘍と腹腔鏡下手術」 シンポジウム 「青少年の体力低下および体力づくり」 子どもの体力の経年的変化」 「ジュニア選手の体力」 「子どものトレーニング」 「子どもの体力と免疫」 「子どものけがと体力、身体特性」 パネルディスカッション 「若年者における生活習慣病」 「小児、思春期の肥満」 「小児、思春期の糖尿病」 「小児、思春期の高脂血症」 「小児、思春期の高血圧」 パネルディスカッション 「思春期の心の発達と生活を支える～サポートネットワークの充実をめざして」 「虐待児のトラウマへの対応」 目的・内容 第23回日本思春期学会がつくば市で開催されるにあたり、会員を対象とした講演会等 対象：日本思春期学会会員 開催数：1回（茨城県） 効果 学会長がスポーツ医学の専門家であることから、特にスポーツと思春期をテーマにした課題について研鑽を積むことができた。また、思春期の心の問題についても学ぶ機会を得た。</p>	2～11, 13, 46, 48～51, 60, 61	<p>会長講演 「青少年の生活習慣と健康」 教育講演2 「心のケアと父親の役割」 シンポジウム1 性教育は転換期を迎えたか 健康教育の立場から 性教育の立場から 教育現場の立場から 地域保険の立場から シンポジウム2 思春期女性クリニックのプライマリ・ケア 今、なぜ思春期クリニックは必要なのか 思春期婦人科疾患を中心に 性感染症を中心に 避妊と中絶を中心に シンポジウム3 青少年の健康リスク 青少年の喫煙行動の問題 青少年の飲酒行動の問題 青少年の薬物使用の問題 青少年のこころの問題、睡眠障害 目的・内容 第24回日本思春期学会学術集会の一環として、各項目に挙げたテーマに沿って学ぶ。 対象 第24回日本思春期学会に参加する会員を対象として実施する。500名程度 開催数 参加予定人数は公開講座500人、学術集会500名</p>
29.日本児童青年精神医学会	45, 56, 58	<p>学会の福祉に関する委員会活動および啓蒙活動としての「児童虐待セミナー」開催 目的・内容 シンポとして「児童虐待と地域ケア、～福祉と教育の連携を考える～」を行った 対象 シンポ参加者 150名 開催数：1回開催 効果 児童虐待対策における専門的な支援についての理解を深めた</p>	13, 45, 56, 58	<p>第46回日本児童青年精神医学会総会開催（平成17年11月9日～11日） 目的・内容 学会総会の場を通して思春期外来や病棟の整備に関わる臨床技術の育成。児童虐待に関連の委員会活動およびセミナー開催 対象 学会会員および総会開催地区市民など、計1,200名 開催数 学術総会開催1回。委員会活動（教育、福祉、法と人権などの委員会）それぞれ3～4回の開催</p>
30.（社）日本小児科医会			59	<p>「子どもの心」研修会 目的・内容：「子どもの心」相談医の資格認定と再研修 対象：日本小児科医会会員 約6,000名 開催数 前期2日間 後期2日間 計4日間</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
31. (社)日本小児科学会	49	こどもの健康週間における健康相談所を都内5カ所で開設 目的・内容・育児を含め、こどもの健康全般に係わる心配事についての相談、啓蒙 対象：一般市民 開催数：1回	1, 4, 42, 59	育成医療の在り方に関する委員会による活動 目的・内容：一般小児科医の必須条件としてのこどもの心の問題を扱える小児科医の育成 対象：小児科医、特に初期臨床研修医および小児科専門医
			44, 45	子どもの虐待に関する診療ガイドライン、予防的対応指針、卒然教育・卒後研修指針などの作成 目的・内容：子どもの虐待の防止と、疑われる症例の取扱いを円滑に行うための教育 対象：小児科医、初期研修医
			46, 48, 49	一般向けホームページの開設 目的・内容：パンフレット共に、子どもの健康と、異常時の対応についての知識の普及 対象：一般市民、研修医
			4, 45, 60, 61	フォーラム「一貫した成長曲線を作成しよう」 目的・内容：成長曲線を作ることによって、摂食障害、ネグレクト、肥満の早期発見ができるので、これを作ることの意義を啓蒙する 対象：一般市民、養護教員、小児科医、初期研修医 開催数：1回
34. (社)日本小児保健協会	45, 46, 58	健やか親子21 ワークショップ 目的・内容：地域における支援システムの構築 対象：保健師、医師、ボランティア、愛育班 配布数：1000部	45, 46, 58	子育て支援ネットワークを広げる 内容・目的：地域における支援システムの構築 対象：保健師、医師、ボランティア、愛育班 配布予定：冊子1,000部
	45, 46, 47, 48, 49, 58	第4課題推進協議会参加代表幹事団体 目的・内容：育児不安、心の健康、虐待の防止システム作り 対象：第4課題参加22団体と学識経験者 開催数：3回開催	45, 46, 47, 48, 49, 58	第4課題推進協議会参加(代表幹事) 内容・目的：住民参画、保健福祉の協働、老人から子どもまでの支援システム 対象：第4課題参加20団体と学識経験者 開催予定：年3回
	4, 13, 59	不定愁訴をもつ子どもへのアプローチ 目的・内容：心身症、不登校、摂食障害 対象：小児保健関係者 配布数：小児保健シリーズ1000部	4, 13, 59	小児のメンタルヘルス 内容・目的：不登校、思春期やせ、こころ 対象：小児保健関係者 配布予定：冊子1500部

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
34.(社)日本小児保健協会	55, 59	イオン飲料とむし歯、母乳とむし歯 目的・内容 小児科と小児歯科の統一見解 対象 小児保健関係者並びに一般 配布数 小児保健研究 63:3号 349- 353、2004年、6千部	55, 59	小児科医と小児歯科医懇談会 内容・目的 指しゃぶり おしゃぶり 母乳など子どもの歯の問題 対象 小児保健関係者 開催予定 年 4回、各雑誌の公表
		21世紀の小児のメンタルケア困難な時代を生きる子らを支えるために 内容 平成 16年 6月 20日 (日) 東京野口記念会館 保健師、医師、保育士など 180名参加 第 21回小児保健セミナー		
		小児保健課題と挑戦 内容 平成 16年 10月 28~ 30日、盛岡市民文化センター 参加 1,500名 第 51回日本小児保健学会		
		小児保健関連課題全般 内容 平成 16年中、支部小児保健学会 約 1万名参加 46全国都道府県支部		
		乳幼児健診の基本的な診かたと対応 内容 平成 16年 5月 12日、調布市医師会館 約 100名、調布市医師会学術講演		
		これからの子育て支援のあり方 乳幼児健診の効果的役割 内容 平成 16年 7月 27日 (火) 福岡県吉塚合同庁舎 803会議室 約 300名出席 母子保健指導者研修会		
		これからの乳幼児健診 育児支援と保健福祉の連携 内容 平成 16年 10月 15日 (金) 法華クラブホテル函館 約 150名参加 函館小児科医会講演		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
34. (社)日本小児保健協会		子どもの健全育成のためのゼロ次予防とコミュニティーデベロプメント 内容:平成16年10月29日(金)盛岡市民文化ホール 約1500名 第51回日本小児保健学会特別講演		
		子どもの健やかな発達をサポートするためには 内容:平成16年12月14日(火)島根県大田市集合庁舎 250名参加 島根県西部地域母子保健関係者研修会		
36. (社)日本助産師会	44, 45, 47, 48, 49, 50, 52	7つのテーマの共通の取り組みを行った。 1.47支部における「子育て女性健康支援センター」活動 / 2. 相談員育成のための研修会開催 / 3. 子育て支援イベント参加 目的・内容:1.虐待による死亡の防止 / 2.虐待の発生予防、早期発見・対応、児の保護・支援を行った / 3.助産師のための子ども虐待防止マニュアルの普及を行った / 4.親がゆったりとした気分で子どもと過ごすための支援を行った / 5.育児相談を行った / 6.父親が育児に参加できる支援を行った / 7.母乳育児の推進を図った / 8.母子訪問マニュアルを作成し、普及を図った 対象:1.会員・非会員 / 2.妊産褥婦とその家族 / 3.子育て支援団体 開催数:1.支援センター47都道府県 / 2.電話相談 20,467件 / 3.来所相談 19,483件 / 4.訪問指導 1,2117件 研修会は合計4回開催 効果:1.多くの助産師へ、子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安軽減への対応が明示できた。 / 3.母子訪問マニュアル、助産師のための子ども虐待防止マニュアルの頒布数が増加した。	44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 52	子育て・女性健康支援センターの充実を図る 目的・内容:無料相談事業を行う。育児について、父親の育児参加について、母乳相談等を行う 対象:妊産褥婦及び新生児とその家族 開催数:47都道府県支部 月～金90%のセンター。残り10%は、回数又は休日なしで実施予定
			44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 52	相談員育成の研修会開催 目的・内容:母子訪問指導者、乳児虐待防止指導者研修会を実施する。乳房ケア研修会の開催。 対象:会員・非会員助産師 開催数:合計5回開催予定
			44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 52	産後ケア事業の推進 目的・内容:受諾してくれる市町村を増加するための要望活動を実施する。 対象:市町村 開催数:社団法人日本助産師会本部・支部協力して要望活動を実施する。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
38 .日本赤十字社	46, 49	デイケア、ショートステイ、育児体験教室、育児相談、乳幼児健康支援一時預かり事業等、保育相談、赤十字幼児安全法 目的・内容・乳児院等において、職員が有する専門的知識を活用し、地域における子育て相談及び支援事業を実施 対象 地域住民 開催数 :デイケア (延1442人) ショートステイ (延194人) 育児体験教室 (延538人) 育児相談 (延1016人) 乳幼児健康支援一時預かり事業等 (延1407人) 保育相談 (延48人) 赤十字幼児安全法 (延491人) 効果 地域住民との信頼関係を築くことが出来た。	46, 49	デイケア、ショートステイ、育児体験教室、育児相談、乳幼児健康支援一時預かり事業等、保育相談、赤十字幼児安全法 目的・内容・乳児院等において、職員が有する専門的知識を活用し、地域の養育機能の向上に努める。 対象 地域住民 開催数 :デイケア (延べ1,510人) ショートステイ (延べ110人) 育児体験教室 (延べ544人) 育児相談 (延べ10人) 乳幼児健康支援一時預かり事業等 (延べ1,303人) 保育相談 (延べ65人) 赤十字幼児安全法 (延べ434人)
	14, 15, 19, 23, 24, 25, 26, 36, 53, 60	総合周産期母子医療センター 目的・内容・周産期医療の充実のため 対象 患者様及びそのご家族 開催数 全国で7赤十字医療施設にて設置	14, 15, 19, 23, 24, 25, 26, 36, 53, 60	総合周産期母子医療センター 目的・内容・周産期医療の充実のため 対象 患者様及びそのご家族 開催数 :全国で7赤十字医療施設にて設置
	14, 15, 19, 23, 24, 25, 26, 36, 53, 60	地域周産期母子医療センター 目的・内容・周産期医療の充実のため 対象 患者様及びそのご家族 開催数 全国で9赤十字医療施設にて設置	14, 15, 19, 23, 24, 25, 26, 36, 53, 60	地域周産期母子医療センター 目的・内容・周産期医療の充実のため 対象 患者様及びそのご家族 開催数 :全国で9赤十字医療施設にて設置
	25, 26, 27, 28, 32, 33, 36, 37, 38, 43, 52	乳幼児健康相談の実施 目的・内容・乳幼児の健康管理体制の醸成のため 対象 患者様及びそのご家族 開催数 全国で62赤十字医療施設にて実施	25, 26, 27, 28, 32, 33, 36, 37, 38, 43, 52	乳幼児健康相談の実施 目的・内容・乳幼児の健康管理体制の醸成のため 対象 患者様及びそのご家族 開催数 全国で62赤十字医療施設にて実施
	32, 36, 37, 38, 46, 48	育児相談 目的・内容・育児全般における相談・啓蒙の場を提供するため 対象 患者様及びそのご家族 開催数 全国で39赤十字医療施設にて実施	32, 36, 37, 38, 46, 48	育児相談 目的・内容・育児全般における相談・啓蒙の場を提供するため 対象 患者様及びそのご家族 開催数 全国で39赤十字医療施設にて実施
	14, 15, 23, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 36, 46, 48, 52, 60, 61	母親学級の開催 目的・内容・妊産婦の出産・育児に関する学習会の場を提供するため 対象 患者様及びそのご家族 開催数 全国で68赤十字医療施設にて実施	14, 15, 23, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 36, 46, 48, 52, 60, 61	母親学級の開催 目的・内容・妊産婦の出産・育児に関する学習会の場を提供するため 対象 患者様及びそのご家族 開催数 全国で68赤十字医療施設にて実施

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
39.日本タッチケア研究会	46, 48	タッチケア指導者講習会 目的・内容：“タッチケア”の理念、考え方と手技を医療担当者に解説して理解を促進し、以て母親宛の普及に資する。 対象：看護師、助産師、医師、保育士等 400名 開催数：3回開催（福岡県、大阪府、神奈川県） 効果：医療担当者からのタッチケアを習得したいとの要望に応えることができた。	46, 48	タッチケア指導者講習会 目的・内容：“タッチケア”の理念、考え方と手技を医療担当者に解説して理解を促進し、以て母親宛の普及に資する 対象：看護師、助産師、医師、保育士等 400名 開催数：3回開催（愛知県、北海道、東京都）
	46, 48, 50	ニューズレター “Touch Care Update” 目的・内容：研究会の事業活動の内容を周知すると共に、タッチケア実施施設からの寄稿により、会員の相互理解を深める。 対象：助産師、看護師、医師、保育士等会員約800名 配布数：4回発行（3月、6月、9月、12月）各1,000部発行 効果：タッチケアについての更なる理解を深めることができた。	46, 48, 50	ニューズレター “Touch Care Update” 目的・内容：研究会の事業活動の内容を周知すると共に、タッチケア実施施設からの寄稿により、会員の相互理解を深める。 対象：助産師、看護師、医師、保育士等会員約800名 配布数：4回発行（3月、6月、9月、12月）各1,000部発行
	46, 48, 50	マニュアル冊子とマニュアルビデオの頒布 目的・内容：新生児病棟スタッフマニュアル とビデオ、2～3ヵ月以上の健常児用マニュアル とビデオ 対象：会員対象 配布数：350部 35本 10,250部 75本 効果：タッチケアの啓蒙 普及に役立っている	46, 48, 50	マニュアル冊子とマニュアルビデオの頒布 目的・内容：新生児病棟スタッフマニュアルとビデオ、2～3ヵ月以上の健常児用マニュアルとビデオ 対象：会員対象 配布数：施設からの要望数に応じる
				46, 48
40.日本保育園保健協議会			41.45.49.59	生涯研修システム 内容・目的：現在の保育園における諸問題を理解し、保育保健の専門的な資質を向上させる。 対象：園医、保育士、園長、看護師、栄養士など 開催予定：4回（全国4ブロックで開催）
41.（社）日本保育協会	49	育児電話相談「ママさん110番」 目的・内容：子育て不安の軽減のため、保育園長、小児科医、看護師等による育児電話相談を実施する。 対象：育児中の親等 2,860件 開催数：月～金曜日 10:00～16:00	49	育児電話相談「ママさん110番」 目的・内容：子育て不安の軽減のため、保育園長、小児科医、看護師等による育児電話相談を実施する。 対象：育児中の親等 開催数：月～金曜日 10:00～16:00

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
41. (社)日本保育協会	49	保育所保育保健推進セミナー（日本財団助成事業） 目的・内容：保育所職員の小児保健の向上を目指し、理論と方法を研修する。 対象：保育所に勤務する保育士、看護師等 696名 開催数：2回（東、西）	49	保育所保育保健推進セミナー（日本財団助成事業） 目的・内容：保育所職員の小児保健の向上を目指し、理論と方法を研修する。 対象：保育所に勤務する保育士、看護師等 300名 開催数：2回（東、西）
	49	保育所子育て相談推進セミナー（日本財団助成事業） 目的・内容：保育所における子育て相談の助言に関する研修を行う 対象：保育所に勤務する保育士等 536名 開催数：2回（東、西）	49	保育所子育て相談推進セミナー（日本財団助成事業） 目的・内容：保育所における子育て相談の助言に関する研修を行う 対象：保育所に勤務する保育士等 300名 開催数：2回（東、西）
	49	地域子育て支援センター担当者研修会A型（国庫補助事業） 目的・内容：保育所が子育て支援センターの機能を果たすために必要な育児相談を行う上で必要な知識・技術の研修を行う。特にソーシャルワークとしての相談業務を研修する 対象：保育所の主任保育士等 343名 開催数：1回	49	地域子育て支援センター担当者研修会A型（国庫補助事業） 目的・内容：保育所が子育て支援センターの機能を果たすために必要な育児相談を行う上で必要な知識・技術の研修を行う。特にソーシャルワークとしての相談業務を研修する。 対象：保育所の主任保育士等 400名 開催数：1回
	49	地域子育て支援センター担当者研修会B型（国庫補助事業） 目的・内容：保育所が子育て支援センターの機能を果たすために必要な育児相談・指導を行う上で必要な知識・技術の研修を行う。サークル活動の実技研修を行う 対象：保育所の主任保育士等 206名 開催数：1回	49	地域子育て支援センター担当者研修会B型（国庫補助事業） 目的・内容：保育所が子育て支援センターの機能を果たすために必要な育児相談・指導を行う上で必要な知識・技術の研修を行う。サークル活動の実技研修を行う 対象：保育所の主任保育士等 180名 開催数：1回
			49	保育所における地域の子育て支援に関する調査研究 目的・内容：保育所が実施している子育て相談、子育てサークルの育成・支援活動についての調査研究 対象：2000件（調査対象） 配布数：4000部
43. 日本母性衛生学会	46	特別講演「母性の復権」(第45回日本母性衛生学会学術集会) 目的・内容：母性は3歳までが重要であるだけでなく、その後、思春期まで良好な母子関係を維持・発展させることの重要性を伝える。 対象：第45回日本母性衛生学会学術集会の参加者 開催数：1回開催（東京都） 効果：女性性、母性の重要性を再確認した。	44～51, 58	シンポジウム「どう支える？親になりきれない親」(第46回日本母性衛生学会学術集会) 対象：第46回日本母性衛生学会学術集会の参加者 開催数：1回開催（宮崎県）

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
43.日本母性衛生学会	16, 46, 48	教育講演〔1〕妊産婦の心のケア - エビデンスに基づいた実践 - 」（第45回日本母性衛生学会学術集会） 目的・内容 妊産婦の心のケアには身近にいる周産期医療スタッフの役割が大きい。実践例から精神支援と治療を提示する。 対象 第45回日本母性衛生学会学術集会の参加者 開催数：1回開催（東京都） 効果 快適と安全性が重視される妊産婦ケアにあって、心をケアの重要性が再確認された。	53	シンポジウム 「NICUの看護とHumanity」（第46回日本母性衛生学会学術集会） 対象 第46回日本母性衛生学会学術集会の参加者 開催数：1回開催（宮崎県）
	16, 45, 46, 48	教育講演〔2〕産後うつ病：看護スタッフによる診断と治療」（第45回日本母性衛生学会学術集会） 目的・内容 産後うつ病の頻度はおよそ10%である。助産師による精神疾患の診断方法と心理療法の基礎を紹介する。 対象 第45回日本母性衛生学会学術集会の参加者 開催数：1回開催（東京都） 効果 産後うつに対する看護職の関わり方や役割を理解した。	46, 48	特別講演 親子関係を考える（仮題）」（第25回茨城県母性衛生学会学術集会） 対象 第25回茨城県母性衛生学会学術集会の参加者 開催数：1回開催（茨城県）
	44, 45, 46, 47, 48, 58	教育講演〔3〕虐待と愛着の病理」（第45回日本母性衛生学会学術集会） 目的・内容 虐待ケースを通じ、乳児 - 親 - 医療スタッフ間の心の響き合いが母子の愛着形成に与える影響と、よりよい支援システム作りを検討する。 対象 第45回日本母性衛生学会学術集会の参加者 開催数：1回開催（東京都） 効果 虐待の背景にあるもとをよく理解してこそ、対応が効率的になしえることを知った。	46, 48, 49, 56, 58, 59	シンポジウム 母子支援の最前線」（第25回茨城県母性衛生学会学術集会） 目的・内容 (1)新生児訪問・子育て支援サークルを実施している立場から(2)小児医療を実施している立場から(3)母子の生活支援を実施している立場から(4)子育て支援充実へ、行政の立場から 対象 第25回茨城県母性衛生学会学術集会の参加者 開催数：1回開催（茨城県）
	46, 48, 49, 58	教育講演〔6〕育児不安の理解と対応」（第45回日本母性衛生学会学術集会） 目的・内容 育児不安の要因と対応方法、育児支援活動について伝える。 対象 第45回日本母性衛生学会学術集会の参加者 開催数：1回開催（東京都）		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
43 .日本母性衛生学会	46, 48, 55	シンポジウム 「安心して出産できる医療と社会環境の整備をいかにすすめるか」(3)子育ての喜びを実感できる環境作りを目指して - 保健師の立場から - (第45回日本母性衛生学会学術集会) 目的・内容 :母親が子育ての喜びを実感できるような育児支援について乳幼児健康診査を実施する保健師の立場から考察する。 対象 :第45回日本母性衛生学会学術集会の参加者 開催数 :1回開催 (東京都)		
	45, 46, 47, 48, 49	シンポジウム 「安心して出産できる医療と社会環境の整備をいかにすすめるか」(4)子育て支援活動の現場から (第45回日本母性衛生学会学術集会) 目的・内容 :日本助産師会の「子育て・女性健康支援センター」での活動を紹介し、育児不安の解消や虐待の予防のためにきめ細かな支援の必要性を伝える。 対象 :第45回日本母性衛生学会学術集会の参加者 開催数 :1回開催 (東京都)		
	45, 47, 49	特別講演 「児童虐待の予防と母子保健の役割について」(第34回北海道母性衛生学会学術講演会) 目的・内容 :児童虐待の予防と母子保健の役割について講演する。 対象 :第34回北海道母性衛生学会学術講演会の参加者 開催数 :1回開催 (北海道)		
	52	特別講演 「エビデンスに基づいた母乳ケアのあり方」(第21回石川県母性衛生学会学術総会、第19回北陸母性衛生学会学術集会) 目的・内容 :エビデンスに基づいた母乳ケアのあり方について講演する。 対象 :第21回石川県母性衛生学会学術総会、第19回北陸母性衛生学会学術集会の参加者 開催数 :1回開催 (石川県)		
	52	ワークショップ 「母乳育児の確立を目指して」(第1回和歌山県母性衛生学会学術集会) 目的・内容 :母乳育児の確立についてワークショップを行う 対象 :第1回和歌山県母性衛生学会学術集会の参加者 開催数 :1回開催 (和歌山県)		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
43.日本母性衛生学会	52	基調講演「母乳栄養確立を目指して～『10カ条のエビデンスを読み解く』」(第1回和歌山県母性衛生学会学術集会) 目的・内容:母乳栄養の確立について、10カ条のエビデンス(WHO/CHD)を検討しながら解説する。 対象:第1回和歌山県母性衛生学会学術集会の参加者 開催数:1回開催(和歌山県)		
45.日本母乳の会	45, 46, 48, 49, 50, 52, 58, 59	九州シンポジウム実行委員会の開催 目的:シンポジウムのテーマ、講演者、内容等、論議 対象:参加人数:40-50名、産科医、小児科医、助産師、その他 開催数:7回開催 効果:多くの方と論議をしながら、シンポジウムを作り上げていくので、九州地区の母乳育児が広がった。	15.16.20.21.22	第14回母乳育児シンポジウム岡山実行委員会 目的:シンポジウムのテーマ、講演者、内容等、論議。月1回開催 効果:多くの方と論議をしながら、シンポジウムを作り上げていくので、中四国地区の母乳育児が広がっていく 参加人数:40-50名、 産科医、小児科医、助産師看護師、保健師、臨床心理士、母親、その他 開催数:月1回の開催で7回。
		第13回母乳育児シンポジウムの開催 目的・内容:母子同室・母乳育児の推進のために広く深く理解をしていただく。 特別講演「家族の起源」山極寿一 京都大学理学部動物学科 教育講演「匂いや体内時計を介した母子間コミュニケーション」篠原一之長崎大学医学部生理学教室 ・シンポジウム1「母乳育児と教育」 ・シンポジウム2「母乳育児をすすめる上でわすれてはならないこと」 ・市民交流会「母乳育児を市民と語る」テーマ:母乳育児何でもQ&A 参加人数:1200名(産科医、小児科医、助産師、看護師、保健師、母親、父親等)	15.16.20.21.22	第14回母乳育児シンポジウムの開催 目的:母子同室・母乳育児推進の全国的な広がりを見せている。 特別講演 堀内 勁 聖マリアンナ医科大学小児科学教室教授 「赤ちゃんとお母さんの別れと出会い-母乳育児」 ・基調講演 山内 芳忠 国立病院機構岡山医療センター臨床研究部長・小児科 「母乳育児運動-過去に学び、未来への橋渡し」 シンポジウム1「今、医療施設に求められる入院中の母乳育児確立への支援」 シンポジウム2「どうのりきる?おっぱいのピンチ!-ちょっとじゃましてませんか?」母乳育児継続の工夫 ・子育て交流会「だからおっぱい だけのおっぱい」 対象:参加人数:1300名(産科医、小児科医、助産師、看護師、保健師、母親、父親等)
		第13回母乳育児シンポジウム・ポスター 目的・内容:全国産科施設に配布し、掲示を依頼 対象:西日本を中心とした産科施設に配布 配布数:2000枚	15.16.20.21.22	第14回母乳育児シンポジウム・ポスター 目的・内容:全国産科施設に配布し、掲示を依頼 対象:西日本を中心とした産科施設に配布 配布数:2000枚
		第13回母乳育児シンポジウム・チラシ 目的・内容:福岡を中心に中四国の母親向けの案内 対象:保健センター、子育て支援センター、産科施設で配布 配布数:5000枚	15.16.20.21.22	第14回母乳育児シンポジウム・チラシ 目的・内容:岡山を中心に中四国の母親向けの案内 対象:保健センター、子育て支援センター、産科施設で配布 配布数:5000枚

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
45 .日本母乳の会		ワークショップの開催 目的・内容 :母乳育児の理解を深めるために、医療者の少人数によるワークショップ 対象 約80名、母乳育児を進める施設の指導者、及び	15.16.20.21.22	ワークショップの開催 目的・内容 :母乳育児の理解を深めるために、医療者の少人数によるワークショップ 効果 :青森、千葉地区の母乳育児の広がりが期待される 対象 約80名、母乳育児を進める施設の指導者、及び実践スタッフ 開催数 :年2回、5月青森、10月千葉で開催
		赤ちゃんにやさしい病院「BFH」認定業務 目的・内容 :13施設申請、書類審査を経て、減津調査8施設、認定5施設。佐賀・内野産婦人科、福岡・愛和病院、岡山・サンクリニック、富山県立中央病院、岐阜・西川レディースクリニック。 母乳育児推進の地域的な中心ができる。また、子育て支援を妊娠中から始め、地域の子育て支援の核となっていく 対象 :申請の施設 開催数 :現地調査、8箇所、延べ、40人が審査	15.16.20.21.22	赤ちゃんにやさしい病院「BFH」認定業務 目的・内容 :13施設申請、書類審査を経て、現地調査7施設、現在調査中。母乳育児推進の地域的な中心ができる。また、子育て支援を妊娠中から始め、地域の子育て支援の核となっていく 対象 :申請の施設 開催数 :現地調査、7箇所、延べ31人
		各地の母乳の会、および、母親グループへの講師派遣や支援 目的・内容 :地域の母乳の会後援、講師派遣、母親たちへの支援 対象 :札幌、岩手、山形、宮城、東京、静岡、岐阜、愛知、山梨、神奈川県、大阪、高知、島根、富山	15.16.20.21.22	BFH施設での母親満足度調査 / 各地の母乳の会、および、母親グループへの講師派遣や支援 目的・内容 :厚生科学研究として、BFH施設で出産した母親たちの意識、産後うつ調査。地域の母乳の会後援、講師派遣、母親たちへの支援 対象 :BFH34施設で出産した母親たち（札幌、岩手、山形、宮城、東京、静岡、岐阜、愛知、山梨、神奈川県、大阪、高知、島根、富山）
		BFH申請希望病院への講演・研修会 目的・内容 :BFH認定のための院内スタッフの研修、BFH認定申請の増加 対象 :産科施設の産科医、小児科、助産師、看護師他スタッフ 開催数 :福岡、富山、弘前、山形、島根、他	15.16.20.21.22	BFH申請希望病院への講演・研修会 目的・内容 :BFH認定のための院内スタッフの研修、BFH認定申請の増加 対象 :産科施設の産科医、小児科、助産師、看護師他スタッフ 開催数 :未定
		第12回母乳育児シンポジウム記録集発行、販売 目的・内容 :シンポジウムの記録、および広報活動の一環として作成、会員配布、各地の母乳の会、関連学会において販売。シンポジウム参加者の増加 対象 :産科医、小児科、助産師、看護師、他スタッフ、母親等母乳育児に関心のある一般 配布数 :2000部	15.16.20.21.22	第13.14回母乳育児シンポジウム記録集発行、販売 目的・内容 :シンポジウムの記録、および広報活動の一環として作成、会員配布、各地の母乳の会、関連学会において販売。シンポジウム参加者の増加 対象 :産科医、小児科、助産師、看護師、他スタッフ、母親等母乳育児に関心のある一般 配布数 :2000部

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
45. 日本母乳の会		「卒乳 おっぱいはいつまで」小冊子、作成・販売 目的・内容：母乳育児継続のために、障害となっている事柄についての解説、母親支援、子育て不安の解消として啓蒙 対象：産科医、小児科医、歯科医、保健師、助産師、看護師、他スタッフ、母親等母乳育児に関心のある一般 配布数 5000部、再販5000部	15.16.20.21.22	「母乳と虫歯」小冊子、作成・販売 目的・内容：母乳育児継続のために、障害となっている事柄についての解説、母親支援、子育て不安の解消として解説 対象：産科医、小児科医、歯科医、保健師、助産師、看護師、他スタッフ、母親等母乳育児に関心のある一般市民 配布数 部数未定
			15.16.20.21.22	「WHO・ユニセフの母乳育児成功のための10カ条のエビデンス」翻訳発行 目的・内容：母乳育児を成功させるための10カ条の実践にあたってのエビデンスを提示 対象：産科スタッフ及び、小児科医 配布数 部数未定
46. (社)日本薬剤師会	45 (虐待予防)	「子育て支援ネットワーク」 目的・内容：「子育て支援ネットワーク」づくりのためのワーキンググループ」(座長 前川喜平日本小児保健協会会長)に参画	45 (虐待予防)	「子育て支援ネットワーク 目的・内容：「子育て支援ネットワーク」づくりのためのワーキンググループ」(座長 前川喜平日本小児保健協会会長)において、ネットワークモデル地区の取り組みに薬剤師会として参加 協力予定 対象：3地区程度を予定
47. (社団)日本理学療法士協会			23, 40, 53, 61	「研修会 内容未定」 目的・内容：法人としての社会貢献 対象：専門職および一般 開催数：1回を予定
48. (財)母子衛生研究会	1～4, 15, 16, 18, 28, 35, 37, 38, 45, 48, 49, 55	「母子保健指導者研修会」開催 目的・内容：健やか親子21」の課題をふまえ、地域母子保健活動の一層の向上を図る 対象：保健師、助産師、看護師、保育士等母子保健関係者9,200名 開催数：46回開催(新潟県を除く全都道府県) 効果：地域母子保健活動の向上に寄与できた	1～4, 15, 16, 18, 28, 35, 37, 38, 45, 48, 49, 55	「母子保健指導者研修会」 目的・内容：保健、教育、福祉等の分野を越えた連携を図り、母子保健の諸問題への対応。 対象：保健師、助産師、看護師、保育士等母子保健関係者 10,000名 開催数：年間47回
	14～16, 18, 23, 25～30, 33, 35～38, 46, 48, 52	「母子健康手帳副読本 赤ちゃん - そのしあわせのために」配布 目的・内容：妊婦に対する妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発 対象：妊娠届出時に母子健康手帳副読本として妊婦130万人に配布 配布数：全国の市町村等を通じて130万部配布 効果：妊婦が妊娠・出産・育児に対する正しい知識を身につけることができた。	14～16, 18, 23, 25～30, 33, 35～38, 46, 48, 52	「母子健康手帳副読本 赤ちゃん - そのしあわせのために」配布 目的・内容：妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発。 対象：妊娠届出の妊婦 130万人 配布数：年間約130万部

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
48. (財) 母子衛生研究会	46, 48	「すこやか幼児のころとからだ」 目的・内容 乳幼児の成長、発達および健康に関する正しい知識の普及啓発。 対象：1歳 6か月児健康診査時等の保護者135万人に配布 配布数 全国の市町村等を通じて135万部配布 効果 次代を担う子どもの育成、資質の向上を図り、幼児期の健康教育普及活動に寄与した	46, 48	「すこやか幼児のころとからだ」 目的・内容 乳幼児の成長、発達および健康に関する正しい知識の普及啓発 対象：1歳 6か月児健康診査時等の保護者等 123万人 配布数 年間約123万部
	46, 48, 52	インターネット 子育てインフォ」 目的・内容 妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発 対象 妊産婦および育児期の保護者 開催数 年間アクセス数187万件 効果 妊娠・出産・育児についての疑問や不安に関する情報が得られ、育児不安の軽減が図れた。	46, 48, 52	インターネット 子育てインフォ」 目的・内容 妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発 対象 妊産婦および育児期の保護者等 190万人
49. (社) 母子保健推進会議	44, 45, 46, 47, 58, 60	平成16年母子保健家族計画全国大会 - 健やか親子21全国大会」～地域の力、親子の絆で健やか未来～食で健やか明るい笑顔～ 目的 健やか親子21の推進、母子保健知識の普及・啓発、ならびに地域母子保健事業の推進を図る 内容 功労者表彰、特別講演「子どもの心と体を育むために～笑顔で広げる食育の輪～」、鼎談「なぜ減らぬ、児童虐待～母の心の叫びに耳を」 対象 保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等750名 開催数：1回開催（宮城県） 効果 講演、鼎談は参加者の資質の向上に、地域母子保健活動に功績のあった個人・団体への表彰は、本人、家族、仲間に多大な喜び、自信となった。	2, 3, 46, 49, 58,	平成17年母子保健家族計画全国大会 - 健やか親子21全国大会 目的 健やか親子21の推進、母子保健知識の普及・啓発、地域母子保健事業の推進を図る 内容 功労者表彰、特別講演、シンポジウム 対象 保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等1,000名 開催数：1回開催（奈良県）
	28, 48, 49, 50, 51, 52, 55, 58, 62	第4回母子保健推進員全国大会 目的 健やか親子21の推進、母子保健推進員組織の育成、地域母子保健活動の推進 内容 特別講演「次世代育成支援推進のために 母推さんに期待すること」、活動報告（宮城県丸森町 南方町）、シンポジウム「地域で支える健やか親子」 対象 母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等350名 開催数：1回開催（宮城県） 効果 正しい知識の習得とともに、全国から参集の母子保健推進員等の交流・意見交換の場となった。	45, 46, 48, 49, 52, 55, 58, 62	全国母子保健推進員連絡協議会活動報告会 目的 母子保健推進員の活動を周知することにより、子育て中の親子に寄り添う母子保健推進員の活動への理解を深め、育児不安の軽減へつながることを目的とする。 内容 全国の母子保健推進員の活動報告 対象 行政母子保健担当者、母子保健推進員協議会代表等60名 開催数：1回開催（奈良県）

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
49. (社)母子保健推進会議	45, 46, 48, 49, 52, 55, 58, 62	全国母子保健推進員連絡協議会活動報告会 目的 :母子保健推進員の活動を周知することにより、子育て中の親子に寄り添う母子保健推進員の活動への理解を深め、育児不安の軽減へつなげる。 内容 :全国の母子保健推進員の活動報告 対象 :行政母子保健担当者、母子保健推進員協議会代表等60名 開催数 :1回開催 (宮城県) 効果 :母子保健推進員活動の周知は子育て中の親子への支援につながるとともに、全国から関係者が集まることで意見交換の場もなった。	2, 3, 8, 9, 10, 16, 44, 45, 46, 52, 53,	地区別母子保健事業研修会 目的 :「健やか親子21」は各地域でそれぞれの特性を生かしながら推進されている。そのため、関係機関の連携を深め、新しい知識を共有することを目的とする。 内容 :母子保健における虐待予防、育児不安の軽減、ピアカウンセリングと思春期保健、周産期からの子育て支援を目指して など 対象 :保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員、保育士等計約1,000名 開催数 :5会場で開催 (北海道・栃木県・石川県・鳥取県・長崎県)
	2, 3, 8, 9, 10, 16, 44, 45, 46, 52, 53,	地区別母子保健事業研修会 目的 :「健やか親子21」は各地域でそれぞれの特性を生かしながら推進されている。関係機関の連携を深め新しい知識を共有することを目的とする。 内容 :母子保健における虐待予防、EPDS・MCGを用いた産後うつ・育児不安の軽減、ピアカウンセリングと思春期保健、周産期からの子育て支援 等 対象 :保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員、保育士等計約1,000名 開催数 :6会場で開催 (宮城県・群馬県・奈良県・香川県・佐賀県・札幌市) 効果 :最新の情報を取得するとともに、近県の関係者が集まることで連携を深める機会	1, 2, 5, 28, 29, 44, 45, 46, 48, 49, 50, 52, 58, 60, 62	母子保健推進員研修会 目的 :市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容 :虐待予防、育児不安の軽減、親と子のかかわり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマにした講演、シンポジウム、活動報告 対象 :母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等5,000名程度 開催数 :11回開催 (佐賀県・富山県・山口県・鹿児島県・岐阜県・新潟県・宮城県・茨城県・長野県・青森県・沖縄県)
	1, 2, 3, 5, 28, 29, 44, 45, 46, 48, 49, 50, 52, 58, 60, 62	母子保健推進員研修会 目的 :市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容 :虐待予防、育児不安の軽減、親と子のかかわり、思春期保健(薬物・自殺・性感染症)、母子歯科保健、食育などをテーマにした講演、シンポジウム、活動報告など 対象 :母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等 5,600名 開催数 :13回開催 (山口県・佐賀県・群馬県・富山県・鹿児島県・岐阜県・宮城県・茨城県・長野県・青森県・沖縄県・栃木県・豊田市) 効果 :母子保健推進員の資質の向上と母子保健推進員・保健師等の連携を深めることに寄与。	45, 46, 48, 49, 50, 51, 58	母子保健・健全育成住民会議 目的 :子育てにかかわる地域住民が主体となり課題を洗い出し、情報の共有と連携を図る。 内容 :シンポジウム、フロアディスカッション、講演など 対象 :母親・父親の代表、母子保健推進員、子育てサポーター等700名 開催数 :2回開催 (石川県・和歌山県)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
49. (社)母子保健推進会議	46, 48, 49, 50, 51, 60, 61, 62	母と子の健康を守るつどい 目的 県民の乳児保育に対する意識の向上と地域連帯感の高揚をはかる 内容 親子遊び、ミニ運動会、地域の伝統芸能、乳幼児の歯の健診、リサイクルバザー、手づくりおもちゃ・おやつの展示と実習など 対象 地域の親子とその祖父母約1,000名 開催数：1回開催（山口県下関市） 効果 親子ともにストレスを発散し友だちづくりの場となった。またつどいは、地域の伝統文化、食の伝承の一翼も担っている。	37, 38, 48, 49, 55	リーフレット「丈夫な赤ちゃんを生ま育てましよう」・元気に育てよう私の赤ちゃん」 目的 母子保健推進員が妊婦や乳幼児のいる家庭を訪問する際の配布教材 内容 妊娠中から乳幼児期の子どもの特徴、気をつけること等を記したB6判3ツ折のリーフレット 対象 妊婦・乳幼児を持つ親 配布数 各20,000部作成配布
	45, 46, 48, 49, 50, 51, 58	母子保健・健全育成住民会議 目的 住民が主体的に参加することにより、その地域における子育ての問題を洗い出し、情報の共有と連携を図る。 内容 講演「子育て支援から始めるわが町づくり」、シンポ「みんなで子育て親育て～共に育ちあい心やさしい次世代を」 対象 母親・父親の代表、母子保健推進員、子育てサポーター、保育士等700名 開催数：2回開催（石川県輪島市 和歌山県かつらぎ町） 効果 子育て中の人をはじめ子育てにかかわる方々が一堂に会することで課題が浮き上がるとともに、「一人じゃない」ことを実感できた人が多くみられた。	16, 46, 48, 49, 58	第2回子育てピア支援者養成セミナー 目的 地域で親子に寄り添い子育てをサポートする母子保健推進員等を支援・養成する保健師等を養成し、育児不安の軽減や虐待に至る芽を摘み子育てを支援すると同時に、自身が持つ本来の力を取り戻す 内容 エンカウンター、ピアカウンセリング等の理論とスキルを実習中心に学ぶ。 対象 保健師、保育士、行政母子保健担当者等 開催数：1回（東京で開催）30名
	37, 38, 48, 49, 55	リーフレット「丈夫な赤ちゃんを生ま育てましよう」・元気に育てよう私の赤ちゃん」 目的 母子保健推進員が妊婦や乳幼児のいる家庭を訪問する際の配布教材 内容 妊娠中から乳幼児期の子どもの特徴、気をつけること等を記したB6判3ツ折のリーフレット 対象 妊婦・乳幼児を持つ親 配布数 各20,000部作成・配布 効果 母子保健推進員等が家庭を訪問する際の配布物として母親に必要な情報の伝達する手段として活用されている。	16, 45, 46, 47, 48, 49, 58	ピアママ支援者養成事業 目的 孤立した環境で妊娠・出産・育児期を過ごす母親の子どもへの虐待防止を図る。 内容 モデル地区5市町村において実施したピアママ育成事業をまとめた冊子を制作・配布 対象 希望する自治体等 配布数：配布数10,000部

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
49.(社)母子保健推進会議	16, 46, 48, 49, 58	第1回子育てピア支援者養成セミナー 目的 地域で親子に寄り添い子育てをサポートする母子保健推進員等を支援 養成する保健師等を養成し、母親の育児不安の軽減、虐待に至る芽を摘み子育てを支援すると同時に、自身が持つ本来の力を取り戻す 内容 エンカウンター、ピアカウンセリング等の理論とスキルを実習中心に学ぶ。 対象 保健師、保育士、行政母子保健担当者等 開催数 1回(東京で開催) 30名 効果 セミナー受講生自身本来の力を取り戻し、表情が受講前と後ではまるで変わる。また各地域に戻り同様の研修会を実施、母親が自信と元気を取り戻した等の報告が多く寄せられている。	2, 3, 6, 8, 9, 15, 16, 17, 27, 28, 33, 44, 45, 46, 48, 49, 55, 60, 62	組織育成費の助成 目的 母子保健推進員組織の育成・支援、 内容 県レベルの母子保健推進員組織がある7県に対し、各10万円の助成を行う 対象 佐賀県、和歌山県、山口県、富山県、長野県、沖縄県、新潟県の各母子保健推進員協議会 開催数 1回(7県)
	16, 45, 46, 47, 48, 49, 58,	ピアママ支援者養成事業 目的 孤立した環境で妊娠 出産 育児期を過ごす母親の子どもへの虐待防止を図る。日本財団助成事業 内容 モデル地区 5市町村において、ピアカウンセリングを通しピアママ育成事業を行うとともに、報告会を開催した。現在同事業をまとめた冊子を制作中。 対象 事業の実施者は保健師、ピアママとなるのは地域の母親 開催数 モデル事業実施市町村(守谷市 熱海市 吉良町 岱明町・日高村) 報告会 1回(東京) 34名 効果 同事業をモデル実施した5市町村では、参加した母親たちは一様に自信を取り戻し、表情が明るくなり、事業の継続を望む声が強し。	1, 2, 3, 5, 8, 9, 15, 16, 18, 27, 28, 29, 33, 40, 43~53, 58, 60, 62	地域母子保健福祉情報紙 母推さん の発行 目的 地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容 厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など 対象 都道府県 保健所 市町村 関係団体等 毎月10,000部発行 発行数 12回(毎月1日10日発行)
	16, 45, 46, 47, 48, 49, 58	子育てピア支援者マニュアル 目的 子育て環境の実態、ピアカウンセリング等について学び、地域で親子に寄り添うための理論と技術を学ぶ。 内容 平成15年度行った子育てピア支援者養成事業の内容をまとめた冊子を制作し、都道府県、希望のあった市町村等に配布した。 対象 全国都道府県、政令市、中核市希望のあった市町村等 配布数 1,000部 効果 現在全国各地で始まったピアママ育成事業のマニュアルの一つともなっており、保健師等指導者から信頼が厚い。		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
49. (社)母子保健推進会議	2, 3, 6, 8, 9, 15, 16, 17, 27, 28, 33, 44, 45, 46, 48, 49, 55, 60, 62	組織育成費の助成 目的 母子保健推進員組織の育成・支援、 内容 県レベルの母子保健推進員組織がある7県に対し、各10万円の助成を行った。 対象 佐賀県、和歌山県、山口県、富山県、長野県、沖縄県、新潟県の各母子保健推進員協議会 開催数 :1回(7県) 効果 県レベルの協議会設置の必要性は皆が認識しながらも予算の捻出が困難であることが多く、同育成費は、母子保健推進員活動を支える大きな力となっている。		
	1, 2, 3, 5, 8, 9, 15, 16, 18, 27, 28, 29, 33, 40, 43~53, 58, 60, 62	地域母子保健福祉情報紙「母推さん」の発行 目的 地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容 厚生労働省、専門職による情報提供、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など。 対象 都道府県 保健所・市町村 関係団体等 毎月10,000部発行 発行数 :12回(毎月1日10日発行) 効果 行政、専門職からの情報、地域における母子保健活動の実際を広く掲載し、毎号全国から多くの反響が寄せられている。		
50. (社)母子用品指導協会	46	「なにが必要？ どう選ぶ」 目的・内容 妊婦が出産・育児用品について正しい知識の普及啓発および最新情報の提供。 対象 妊婦および家族 120万人に配布。 配布数 :120万部 効果 妊婦が出産・育児用品に対する正しい知識を身につけることができた。	46	「なにが必要？ どう選ぶ」 目的・内容 妊婦が出産・育児用品について正しい知識の普及啓発および最新情報の提供。 対象 妊婦および家族 120万人に配布。 配布数 :120万部
	46	「やさしい水と乳幼児の食生活」 目的・内容 乳幼児をもつ母親へ食べることの楽しさを伝え、規則正しい食生活の基礎を普及啓発する。 対象 妊婦および家族 50万人に配布。 配布数 50万部 効果 乳幼児をもつ母親へ食べることの楽しさを伝え、規則正しい食生活の基礎を普及啓発することができた。	46	「やさしい水と乳幼児の食生活」 目的・内容 乳幼児をもつ母親へ食べることの楽しさを伝え、規則正しい食生活の基礎を普及啓発する。 対象 妊婦および乳幼児を持つ母親 配布数 50万部

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
50. (社)母子用品指導協会	46	歯の健康miniブック 目的・内容 妊婦および乳幼児をもつ家族が歯の健康について正しい知識の普及啓発および最新情報の提供。 対象 妊婦および家族 110万人に配布。 配布数 :110万部 効果 妊婦および乳幼児をもつ家族が歯の健康について正しい知識を身につけることができた。	46	歯の健康miniブック 目的・内容 妊婦および乳幼児をもつ家族が歯の健康について正しい知識の普及啓発および最新情報の提供。 対象 妊婦および家族 110万人に配布。 配布数 :110万部
	49	「子育てインフォ」 e-ものe-情報 目的・内容 ホームページで育児相談受付や情報の配信を行なう 対象 :年間アクセス187万件 効果 :ネット利用による育児相談で正しい情報を配信することができた。	49	「子育てインフォ」 e-ものe-情報 目的・内容 ホームページで育児相談受付や情報の配信を行なう 対象 :年間アクセス187万件
51. 日本小児歯科学会	55	「最新乳幼児口腔保健の手引き(仮題)」を発行するべく編集作業中である 目的・内容 健診現場で子育て支援に繋がるように見解の統一をした 対象 :歯科医師、医師、看護師、歯科衛生士、保健師、幼稚園、保育園関係者等	46, 48, 49, 54, 55, 62	医歯薬出版(株)親とこの健やかな育ちの寄り添う乳幼児の口と歯の健診ガイド」日本小児歯科学会監修の発行 目的・内容 :公的健診や今後の歯科健診のあり方、育児支援の視点に立った健診の統一見解を成書にし、普及させる。 対象 :歯科医師、医師、看護師、保健師、歯科衛生士、幼稚園、保育園関係者等
	49	こどもの健康週間事業 目的・内容 小児科との連携、健康相談 対象 :一般保護者、幼児、児童 開催数 :1回 効果 小児科との連携が図られ、新たな動きが出てきた。	46, 49	「こどもの健康週間」事業 目的・内容 :健康相談および講演会、研修会(日本小児科学会主催事業) 対象 :一般保護者、幼児、児童 開催数 :全国各都道府県において
54. 日本学校保健学会				研究と実践 目的・内容 :子どもの健康の現実を深く問い直し、それに関わる内容
				第52回日本学校保健学会 目的・内容 :市民向けフォーラム、シンポジウム開催。10月28日～30日 仙台 対象 :学会員、一般 約1200人

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
57.全国病児保育協議会	46, 48, 49, 50, 51	<p>第14回全国病児保育研究大会</p> <p>目的・内容： 市民公開講座 横浜市の子育て支援策と病後児保育」 行政説明 基調講演 病児・病後児保育の課題と問題点」 特別講演 子どもと感染症」 病（後）児保育施設実態調査 基礎研修 施設長研修 病児保育のあり方を問う」 ステップアップ研修 「食物アレルギーと除去食」子どもの呼吸障害」 分科会 「遊びと環境」病児保育のニーズと問題点」保育・看護」 「保育所併設型セッション」なんでも相談」 ポスターセッション 「食事の工夫」自由テーマ1」自由テーマ2」 実習講座 「0歳赤児安全法」</p> <p>対象 病児保育事業に携わる者（病児保育施設長・医師・保育士・看護師・教育関係者等）約700名 開催数 :1回開催 効果 :市民公開講座で一般の方々にも聞いていただくことで究極の子育て支援「病児保育」をより広く知ってもらうことができた。また、病児保育に携わる年数に関係なく多岐に渡る立場と職種の人々が一同に会して意見交換することができた。</p>	46, 48, 49, 50, 51	<p>第15回全国病児保育研究大会</p> <p>目的・内容： 市民公開講座 地域で子ども達が健康で輝いた生活をおくるための環境づくり～親のこころ 子のこころ～」 基調報告 「少子化社会対策の現状と課題」 シンポジウム 地域で子ども達が健康で輝いた生活をおくるための環境づくり～家庭・地域・関連機関の役割～」 会頭講演 病児保育とそれをとりまく社会環境～連携と課題～」 行政説明 分科会 基礎研修</p> <p>対象 病児保育事業に携わる者（病児保育施設長・医師・保育士・看護師・教育関係者等） 開催数 :1回</p>
58.性と健康を考える女性専門家の会	46, 48	<p>公演 楽団あぶあぶあ&ミュージカルチームLOVE」</p> <p>目的・内容 :ダウン症や自閉症の青年たちが中心となって活動する音楽グループ 楽団あぶあぶあ &ミュージカルチームLOVE</p> <p>対象 :子育て中の親子、障害者支援者、保健医療関係者、教育関係者、一般 1700名</p> <p>開催地 :東京 2004年 9月25日(土) 開演 13:00(すみだ トリフォニーホール) 主催 朝日エル&性と健康を考える女性専門家の会</p> <p>効果 :障害者であるプレーヤーの演技のすばらしさ、交流を通じて生きる上での大切なことを感じる事ができた。</p>		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
61 .日本母乳哺育学会	52, 20	<p>第19回日本母乳哺育学会 学術集会 公開講演会 『みんなで進めよう! 健やか親子21』</p> <p>目的・内容 学会の初日を一般公開とし、子どもの健やかな育ちの基盤をなす母乳哺育の重要性を特別講演と文化の異なるオランダの母乳哺育と子育ての現状をミニシンポで啓蒙した。</p> <p>対象 :一般 保育関係者・小児科医・産科医・助産師・保健師等 約350名</p> <p>開催数 :健やか親子21のパンフレットを配布した 300枚</p> <p>効果 :母乳哺育が母と子の健康づくりに大切であることを文化や国を超えて理解を深めることが出来た。</p>		<p>第20回日本母乳哺育学会 学術集会 公開講演会 『母乳育児から得たこと』</p> <p>目的・内容 学会の2日午後を一般公開とし、実際に母乳哺育をおこなった母親の体験をもとに、市民と親との交流をはかり、育てる側にたった母乳育児支援について討論する。</p> <p>対象 :一般 保育関係者・小児科医・産科医・助産師・保健師等 約350名。職種や、考え方の違いを越えて、母乳育児支援を力を合わせて行うことをめざす。</p> <p>開催 配布数 :健やか親子21のパンフレットを配布する。シンポジウム:母乳育児支援を考える=手をつなぎあった母乳育児運動</p>
66 .日本臨床心理士会	45, 46, 58	<p>第5回子育て支援研修会</p> <p>目的・内容 :子育て支援にかかわる心理職のための研修会。専門知識を得たり、情報交換を行う。(保健医療、福祉、地域支援、幼稚園・保育園の4分野)</p> <p>対象 :臨床心理士 900名</p> <p>開催数 :年1回開催(東京都)</p> <p>効果 :子育て支援にかかわる分野がさらに拡大してきていることを確認しその方法を検討 共有化できた。</p>	45, 46, 58	<p>第6回子育て支援研修会</p> <p>目的・内容 :子育て支援にかかわる心理職のための研修会。専門知識を得たり、情報交換を行う。(保健医療、福祉、地域支援、幼稚園・保育園の4分野)</p> <p>対象 :臨床心理士 600名</p> <p>開催数 :年1回開催(天理市)</p>
	46	<p>朝日新聞アスパラクラブ :子育てすくすく相談</p> <p>目的・内容 朝日新聞社のWEBサイト上の子育て相談に参加。サイトを通して子育て相談に応じる。</p> <p>対象 :アスパラクラブ会員対象(現在約40万人の登録)</p> <p>開催数 :毎週1回、相談への回答をアップ</p> <p>効果 :寄せられる相談を通して世の一般的な子育ての悩みの推察できた。</p>	46	<p>朝日新聞アスパラクラブ :子育てすくすく相談</p> <p>目的・内容 朝日新聞社のWEBサイト上の子育て相談に参加。サイトを通して子育て相談に応じる。</p> <p>対象 :アスパラクラブ会員対象(現在約40万人の登録)</p> <p>開催数 :毎週1回、朝日新聞社のWEBサイト上の相談への2回答をアップ</p>
	46	<p>朝日新聞アスパラクラブ第1回子育てセミナー(青森市)</p> <p>目的・内容 :WEB相談の一つの発展形として、各地での子育てセミナー展開のスタートとして第1回を実施。</p> <p>対象 :青森市の一般(約20名)</p> <p>開催数 :1回</p> <p>効果 :対面での講演、相談となり、WEB相談とは異なる側面の子育て支援となった。</p>	46	<p>朝日新聞アスパラクラブ :子育てセミナー</p> <p>目的・内容 :WEB相談の一つの発展形として、各地での子育てセミナー展開のスタートとして昨年度に続き、国内数箇所実施の。</p> <p>対象 :開催地の一般市民(20から50名)</p> <p>開催数 :数回(未確定)</p>
				45

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
66 .日本臨床心理士会			46	区市町村の子育て支援における心理職の活用について 目的・内容 改正児童福祉法により、児童相談が区市町村に移ったこととともなって、児童相談における子育て支援に心理職が役立っているかを実態調査する。 対象 基礎自治体（区市町村） 開催数 本年度中
67 .全国母子保健推進員連絡協議会	44, 45, 46, 47, 58, 60	平成16年母子保健家族計画全国大会 - 健やか親子21全国大会」～地域の力、親子の絆で健やか未来～食で健やか明るい笑顔～ 目的 健やか親子21の推進、母子保健知識の普及・啓発、地域母子保健事業の推進を図る 内容 功労者表彰、特別講演「子どもの心と体を育むために～笑顔で広げる食育の輪～」、鼎談「なぜ減らぬ、児童虐待～母の心の叫びに耳を」 対象 保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等750名 開催数 1回開催（宮城県） 効果 講演、鼎談は参加者の資質の向上に、地域母子保健活動に功績のあった個人・団体への表彰は、本人、家族、仲間に多大な喜び、自信となった。	2, 3, 46, 49, 58,	平成17年母子保健家族計画全国大会 - 健やか親子21全国大会 目的 健やか親子21の推進、母子保健知識の普及・啓発、地域母子保健事業の推進を図る 内容 功労者表彰、特別講演、シンポジウム 対象 保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等1,000名 開催数 1回開催（奈良県）
	28, 48, 49, 50, 51, 52, 55, 58, 62	第4回母子保健推進員全国大会 目的 健やか親子21の推進、母子保健推進員組織の育成、地域母子保健活動の推進 内容 特別講演「次世代育成支援推進のために 母推さんに期待すること」、活動報告（宮城県丸森町、南方町）、シンポジウム「地域で支える健やか親子」 対象 母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等350名 開催数 1回開催（宮城県） 効果 新しい知識の習得とともに、全国から参集の母子保健推進員等の交流・意見交換の場となった。	28, 48, 49, 50, 51, 52, 55, 58, 62	第5回母子保健推進員全国大会 目的 健やか親子21の推進、母子保健推進員組織の育成、地域母子保健活動の推進 内容 特別講演、シンポジウム等 対象 母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等700名 開催数 1回開催（奈良県）

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
67.全国母子保健推進員連絡協議会	45, 46, 48, 49, 52, 55, 58, 62	全国母子保健推進員連絡協議会活動報告会 目的：母子保健推進員の活動を周知することにより、親子に寄り添う母子保健推進員への理解を深め、育児不安の軽減へつながることを目的とする。 内容：全国の母子保健推進員の活動報告 対象：行政母子保健担当者、母子保健推進員協議会代表等60名 開催数：1回開催（宮城県） 効果：母子保健推進員活動の周知は子育て中の親子への支援につながるとともに、全国から関係者が集まることで意見交換の場となった。	45, 46, 48, 49, 52, 55, 58, 62	全国母子保健推進員連絡協議会活動報告会 目的：母子保健推進員の活動を周知することにより、子育て中の親子に寄り添う母子保健推進員の活動への理解を深め、育児不安の軽減へつながることを目的とする。 内容：全国の母子保健推進員の活動報告 対象：行政母子保健担当者、母子保健推進員協議会代表等60名 開催数：1回開催（奈良県）
	2, 3, 8, 9, 10, 16, 44, 45, 46, 52, 53,	地区別母子保健事業研修会 目的：「健やか親子21」は各地域でそれぞれの特性を生かしながら推進されている。そのため関係機関の連携を深め新しい知識を共有することを目的とする。 内容：母子保健における虐待予防、EPDS・MCGを用いた産後うつ・育児不安の軽減、ピアカウンセリングと思春期保健、周産期からの子育て支援 など 対象：保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員、保育士等計約1,000名 開催数：6会場で開催（宮城県 群馬県 奈良県 香川県 佐賀県 札幌市） 効果：最新の情報を取得するとともに、近県の関係者が集まることで連携を深める機会	2, 3, 8, 9, 10, 16, 44, 45, 46, 52, 53,	地区別母子保健事業研修会 目的：「健やか親子21」は各地域でそれぞれの特性を生かしながら推進されている。そのため、関係機関の連携を深め、新しい知識を共有することを目的とする。 内容：母子保健における虐待予防、育児不安の軽減、ピアカウンセリングと思春期保健、周産期からの子育て支援を目指して など 対象：保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員、保育士等計約1,000名 開催数：5会場で開催（北海道 栃木県 石川県 鳥取県 長崎県）
	1, 2, 3, 5, 28, 29, 44, 45, 46, 48, 49, 50, 52, 58, 60, 62	母子保健推進員研修会 目的：市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：虐待予防、育児不安の軽減、親と子のかかわり、思春期保健（薬物・自殺・性感染症）、母子歯科保健、食育などをテーマにした講演、シンポジウム、活動報告など 対象：母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等5,600名 開催数：13回開催（山口県 佐賀県 群馬県 富山県 鹿児島県 岐阜県 宮城県 茨城県 長野県 青森県 沖縄県 栃木県 豊田市） 効果：母子保健推進員の資質の向上と母子保健推進員・保健師等の連携を深めることに寄与。	1, 2, 5, 28, 29, 44, 45, 46, 48, 49, 50, 52, 58, 60, 62	母子保健推進員研修会 目的：市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：虐待予防、親と子のかかわり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマにした講演、シンポジウム、活動報告 対象：母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等5,000名程度 開催数：11回開催（佐賀県 富山県 山口県 鹿児島県 岐阜県 新潟県 宮城県 茨城県 長野県 青森県 沖縄県）

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
67.全国母子保健推進員連絡協議会	46, 48, 49, 50, 51, 60, 61, 62	母と子の健康を守るつどい 目的 県民の乳児保育に対する意識の向上と地域連帯感の高揚をはかる 内容 親子遊び、ミニ運動会、地域の伝統芸能、乳幼児の歯の健診、リサイクルバザー、手づくりおもちゃ・おやつの展示と実習など 対象 地域の親子とその祖父母約1,000名 開催数：1回開催（山口県下関市） 効果 親子ともにストレスを発散し友だちづくりの場となった。またつどいは、地域の伝統文化、食の伝承の一翼も担っている。	45, 46, 48, 49, 50, 51, 58	母子保健・健全育成住民会議 目的：子育てにかかわる地域住民が主体となり課題を洗い出し、情報の共有と連携を図る。 内容：シンポジウム、フロアディスカッション、講演など 対象：母親・父親の代表、母子保健推進員、子育てサポーター等700名 開催数：2回開催（石川県・和歌山県）
	45, 46, 48, 49, 50, 51, 58	母子保健・健全育成住民会議 目的：住民の参加によりその地域の子育てに関する課題を考えるとともに、情報の共有、連携を深める。 内容：講演「子育て支援から始めるわが町づくり」、シンポ「みんなで子育て親育て共に育ちあい心やさしい次の世代を」 対象：母親・父親の代表、母子保健推進員、子育てサポーター、保育士等700名 開催数：2回開催（石川県輪島市・和歌山県かつらぎ町） 効果：子育て中の人をはじめ子育てにかかわる方々が一堂に会することで課題が浮き上がるとともに、「一人じゃない」ことを実感できた人が多くみられた。	16, 46, 48, 49, 58	第2回子育てピア支援者養成セミナー 目的：地域で親子に寄り添い子育てをサポートする母子保健推進員等を支援・養成する保健師等を養成する。 内容：エンカウンター、ピアカウンセリング等の理論とスキルを実習中心に学ぶ。 対象：保健師、保育士、行政母子保健担当者等 開催数：1回（東京で開催）30名
	16, 46, 48, 49, 58	第1回子育てピア支援者養成セミナー 目的：地域で親子に寄り添う母子保健推進員等を支援・養成する保健師等を養成し、母親の育児不安の軽減、虐待に至る芽を摘み子育てを支援すると同時に、自身が持つ本来の力を取り戻す 内容：エンカウンター、ピアカウンセリング等の理論とスキルを実習中心に学ぶ。 対象：保健師、保育士、行政母子保健担当者等 開催数：1回（東京で開催）30名 効果：セミナー受講生自身本来の力を取り戻し、表情が受講前と後ではまるで変わる。また各地域に戻り同様の研修会を実施、母親が自信と元気を取り戻した等の報告が多く寄せられている。	1, 2, 3, 5, 8, 9, 15, 16, 18, 27, 28, 29, 33, 40, 43～53, 58, 60, 62	地域母子保健福祉情報紙「母推さん」の発行 目的：地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など。 対象：都道府県・保健所・市町村・関係団体等へ月10,000部発行 開催数：12回（毎月1日10日発行）

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
67.全国母子保健推進員連絡協議会	1, 2, 3, 5, 8, 9, 15, 16, 18, 27, 28, 29, 33, 40, 43～53, 58, 60, 62	地域母子保健福祉情報紙 母推さん の発行 目的 地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容 厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など。 対象 都道府県 保健所・市町村 関係団体等へ月10,000部発行 開催数 :12回 (毎月1日10日発行) 効果 :母子保健推進会議に協力し制作した本紙は、情報収集、アイデアの提供にもなり毎号全国から多くの反響が寄せられている。		
68.(財)児童健全育成推進財団	46	研修会「みんなで子育て研修会」 目的 内容 幅広い世代を対象として子育ての悩みや課題について解決策を探り、地域ぐるみで子育てをする環境づくりを考える研修会をおこなった。 対象 :子育て支援関係者、一般の方等 延べ817名 開催数 :12回開催 (福島県、栃木県、静岡県、滋賀県、高知県、鹿児島県) 効果 :それぞれの開催地域の特色が表れ、各地域における子育てに対する機運が高まった。	46	研修会「みんなで子育て研修会」 目的 内容 昨年度に続き、幅広い世代を対象として子育ての悩みや課題について解決策を探り、地域ぐるみで子育てをする環境づくりを考える研修会を実施する。 対象 :子育て支援関係者、一般の方等 延べ1,200名程度 開催数 :全国6カ所 12回開催
	46	研修会「子育てサークルリーダー研修」 目的 内容 :各地で広がりを見せている子育てサークル活動の中心的役割を果たす人材を養成し、資質の向上をはかることを目的とした研修を実施した。 対象 :子育てサークルの中心的役割を担うサークル NPO等の支援者 延べ730名 開催数 :6回開催 (北海道、埼玉県、大阪府、沖縄県) 効果 :子育て支援者の新たな発掘や、指導者の資質の向上に繋がった。	46	研修会「子育てサークルリーダー研修」 目的 内容 昨年度に続き、各地で広がりを見せている子育てサークル活動の中心的役割を果たす人材を養成し、資質の向上をはかることを目的とした研修を実施する。 対象 :子育てサークルの中心的役割を担うサークル NPO等の支援者 延べ800名 開催数 :全国4カ所 8回開催
70.すくすく子育て研究会	46, 49	ホームページ「初めての赤ちゃん、子育てはこれでいいのかな」 目的 内容 :子育て支援のホームページであるが、16年度は携帯電話版を作成し、親が利用しやすいようにした。また、研修会の詳しい要旨および啓蒙紙「すくすく通信」も掲載している 対象 :子育て中の親、保育園・幼稚園職員および育児サークルの責任者など 効果 :メールおよび電話で、子育て相談があり、支援している。	46, 49, 60	ホームページ「初めての赤ちゃん、子育てはこれでいいのかな」 目的 内容 :育児に不慣れな親に対するメール相談を含む育児支援をする。また、保育園・幼稚園職員や育児サークルの責任者に対して次世代育成支援対策推進法の理解と専業主婦への取り組み方などを支援する。 対象 :子育て中の親、保育園・幼稚園職員および育児サークルの責任者など

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
70.すくすく子育て研究会	46, 49	啓蒙紙「すくすく通信」の発行 目的・内容：子育て中の親、保育園・幼稚園職員および発行者側が同じ立場で、育児について、双方向性に、自由に発言する会報である。これにより読者に育児支援をする。 対象：子育て中の親、保育園・幼稚園職員および育児サークルの責任者など 配布数 配布枚数 5000部 × 4回 = 20,000部（青森県から沖縄県） 効果：これからも、配布を望む礼状が事務局に届いている。	40, 46	第13回研修会「一寸したケガへの対応」 目的・内容：救急車を呼んだり、医療機関を受診する事故の目安とそうでない一寸したケガへの対応を研修する。 対象：保育園・幼稚園職員、児童館職員、育児サークルの責任者や専業主婦など約50名 開催数 開催 1回（宮城県仙台市）出席できなかった施設（会員）に講演要旨を送付。約100部。
	46	第11回研修会「次世代育成支援対策推進法と子育て」 目的・内容：「次世代育成支援対策推進法」の理解とそれぞれの立場（保育園、幼稚園、育児サークルや教員など）からの協力を推進する。 対象：保育園・幼稚園職員、親、育児サークルの責任者および教員など 40名 開催数：1回（宮城県仙台市）欠席者に資料を送付 50部 効果：保育園、特に子育て支援センターで積極的に専業主婦の育児支援に取り組む必要性を理解していただいた。	46, 60	第14回研修会「食生活と食育の実際」 目的・内容：子どもの食は、朝食の欠食、やせや肥満など問題となっている。食育の目標、ねらいや計画などについて研修する。 対象：保育園保護者、地域住民、特に専業主婦および保育園職員など 約100名 開催数 開催 1回（青森県八戸市）出席できなかった施設（会員）に講演要旨を送付。約100部。
	46	第12回研修会「みんなで楽しい園生活をおくるための10ポイント」 目的・内容：保育園での講話のモデルを作成した。また専業主婦にも講話を開放した 対象：保育園・幼稚園職員（18名）、保護者（88名）、専業主婦（42名）計148名 開催数：2回（秋田県象潟町） 効果：保育園の講話で、専業主婦の育児を支援するモデルを作った。また専業主婦を集めるには町の応援が必要であった。	46, 60	啓蒙紙「すくすく通信」の発行 目的・内容：子育て中の親、保育園・幼稚園職員および発行者側が同じ立場で、育児について、双方向性に、自由に発言する会報である。これにより読者に育児支援をする。 対象：子育て中の親、保育園・幼稚園職員および育児サークルの責任者など 配布数 8,000部（2,000部 × 4回）を青森県から沖縄県まで配布。ホームページ（パソコン版と携帯電話版）にも掲載。
	46, 60	食育の実践活動「畑仕事を老人と一緒に」 目的・内容：食育の実践（いのちの育ちと食）として、保育園の契約している畑や農園で、園児が老人と一緒に芋植えと芋堀り、りんごの木の手入れとりんごもぎをした。 対象：保育園児（延225名）老人（延127名）計352名 開催数：5回（青森県八戸市） 効果：保育園児に、芋やりんごの栽培を通して成長の様子および料理の仕方をよく理解させた。	46	保育園講話 目的・内容：保育園保護者と専業主婦に、子どもの発育・発達、病気、食育、予防接種やしつけなどを、嘱託医からわかりやすく話し、子育て支援をする。 対象：保育園保護者、専業主婦や保育園職員など 約150名 開催 配布数 開催 2回（秋田県象潟町）講演要旨配布約150部

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
70.すくすく子育て研究会	世代間交流	地域の高齢者とのふれあい 目的・内容 核家族化および孤立化した育児環境の中で、園児が地域の高齢者と交流を深める。 対象：保育園児（延335名）地域の高齢者 老人保健施設（延488名）計853名 開催数：7回（青森県八戸市） 効果：子ども達に老人を敬い、且つ、労わる心を芽生えさせたと思ふ また、老人による地域の保育力を高めた	46, 60	食育の実践活動 畑仕事を老人と一緒に」 目的・内容：食育の実践（いのちの育ちと食）として、保育園の契約している畑や農園で、園児が老人と一緒に芋植えと芋堀り、りんごの木の手入れとりんごもぎをする。 対象：保育園児延230名位、老人延130名位 開催数：5回位（青森県八戸市）
			世代間交流会	保育園児と地域の老人とのふれあい 目的・内容 核家族化および孤立化した育児環境の中で、園児が地域の高齢者と交流を深めて、地域の保育力を高める。また、子ども達に老人を敬い、且つ、労わる心を芽生えさせる。 対象：保育園児延350名位、地域の老人延500名位 開催数：7回位（青森県八戸市）
71.（財）こども未来財団	46	ホームページ「子育てネット」の運営 目的・内容 全国の認可保育所や放課後児童クラブについての情報や、国・地方公共団体等の子育て支援情報など育児に関する幅広い情報の提供 対象：インターネット閲覧可能な子育て家庭 開催数：365日 24時間稼働	46	ホームページ「子育てネット」の運営 目的・内容 全国の認可保育所や放課後児童クラブについての情報や、国・地方公共団体等の子育て支援情報など育児に関する幅広い情報の提供 対象：インターネット閲覧可能な子育て家庭 開催数：365日 24時間稼働
	46	子育て支援者（子育てNPO）指導者研修会 目的・内容：子育て支援活動を展開している民間の非営利組織（子育てNPO）の指導者の資質の向上を図るために実施 対象：子育て支援活動を展開している民間の非営利組織（子育てNPO）の指導者 1,108名 開催数：7か所（群馬県前橋市、山梨県都留市、長野県諏訪市、三重県津市、広島県広島市、宮崎県宮崎市、沖縄県沖縄市）	46	子育て支援者（子育てNPO）指導者研修会 目的・内容：子育て支援活動を展開している民間の非営利組織（子育てNPO）の指導者の資質の向上を図るために実施 対象：子育て支援活動を展開している民間の非営利組織（子育てNPO）の指導者 開催数：7か所
	46	子育てサークルリーダー研修会 目的・内容：子育てサークル活動の中心的役割を果たすサークルリーダーの資質の向上を図るために実施 対象：子育てサークル活動の中心的役割を果たすサークルリーダー 1,671名 開催数：8か所（北海道釧路市、岩手県盛岡市、埼玉県和光市、埼玉県伊奈町、静岡県静岡市、大阪府堺市、香川県高松市、沖縄県糸満市）	46	子育てサークルリーダー研修会 目的・内容：子育てサークル活動の中心的役割を果たすサークルリーダーの資質の向上を図るために実施 対象：子育てサークル活動の中心的役割を果たすサークルリーダー 開催数：8か所

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
71.(財)こども未来財団	46	みんなで子育て研修会 目的・内容 地域社会と家庭が協力した子育て活動の推進を図るために実施 対象 :子育てに関心のある者や子育てをしている者 951名 開催数 :6か所 (福島県いわき市、栃木県宇都宮市、静岡県島田市、滋賀県竜王町、高知県南国市、鹿児島県鹿屋市)	46	みんなで子育て研修会 目的・内容 地域社会と家庭が協力した子育て活動の推進を図るために実施 対象 :子育てに関心のある者や子育てをしている者 開催数 :6か所
	46	母子保健関係者子育て支援研修会 目的・内容 :子育て環境が変化している中で、乳幼児の虐待など子育て環境に深刻な問題が生じているので、母子保健関係者を対象として実施 対象 :愛育班員等母子保健関係者 1,731名 開催数 :4か所 (山梨県富士河口湖町、兵庫県新宮町、香川県高松市、長崎県川棚町)	46	母子保健関係者子育て支援研修会 目的・内容 :子育て環境が変化している中で、乳幼児の虐待など子育て環境に深刻な問題が生じているので、母子保健関係者を対象として実施 対象 :愛育班員等母子保健関係者 開催数 :4か所
	46	地域組織活動支援研修会 目的・内容 地域において児童の健全育成の推進に努めている地域組織活動を支援し、その活性化を図るために実施 対象 地域において児童の健全育成の推進に努めている地域組織活動をしている者 全国大会 629名、ブロック大会1,122名 開催数 :全国大会 (大分県) ブロック研修会 3か所 (山形県、愛知県、佐賀県)	46	地域組織活動支援研修会 目的・内容 地域において児童の健全育成の推進に努めている地域組織活動を支援し、その活性化を図るために実施 対象 地域において児童の健全育成の推進に努めている地域組織活動をしている者 開催数 :全国大会 (宮城県仙台市)、ブロック研修会 3か所 (岩手県、福井県、香川県)
	48	授乳コーナー・キッズコーナー整備の助成 目的・内容 乳幼児のいる家庭が安心して街出られるように、デパート、スーパー、駅等、不特定多数の人が利用する場所に、授乳コーナー・キッズルームの施設の整備への助成 対象 :デパート、スーパー、駅等、不特定多数の人が利用する場所に、授乳コーナー・キッズルームの施設の整備をする者 開催数 授乳コーナー 30か所、キッズルーム 20か所	46	つどいの広場研修事業 目的・内容 :広場に関する必要な知識技能の習得と相互の情報交換や交流の促進を目的として実施 対象 :新たにつどいの広場を立ち上げようとする者や既に広場を開始している者等 開催数 :5か所

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
71. (財)こども未来財団			46	企業とNPOの子育て支援連携推進シンポジウム 目的・内容：共働き世帯の増加や少子高齢化が進み、子育て家庭や子どもを取り巻く環境が大きく変わってきていることから、地域で子育て支援に取り組んでいるNPO等と企業が幅広い観点から子育てに関する社会活動を連携推進する等のシンポジウムを開催 対象：企業の人事・社会貢献およびCSR担当者 / 子育て支援、青少年育成に携わるNPOおよびボランティア / 子どもの健全育成に関わる福祉および教育関係者、行政担当者 / 子どもの健全育成に関心のある一般市民 開催数：1か所
			48	授乳コーナー・キッズコーナー整備の助成 目的・内容：乳幼児のいる家庭が安心して街出られるように、デパート、スーパー、駅等、不特定多数の人が利用する場所に、授乳コーナー・キッズルームの施設の整備への助成 対象：デパート、スーパー、駅等、不特定多数の人が利用する場所に、授乳コーナー・キッズルームの施設の整備をする者 開催数：授乳コーナー 25か所、キッズルーム 20か所
73. (財)母子健康協会		シンポジウム「保育と食育」開催 趣旨：保育園・幼稚園の先生への啓蒙として保育園・幼稚園の先生方を対象したシンポジウムを開催し、小児医学・教育に関する啓蒙を行うシンポジウム内容は、機関誌「ふたば」。ホームページに収録し、広く情報提供する。 開催日時：平成17年 1月25日 (火) 14時～ 17時 会場：アルカデア市ヶ谷 (東京都千代田区) 講師：前川喜平 (東京慈恵会医科大学名誉教授)・大和田操 (女子栄養大学教授)・加藤則子 (国立医療科学研修企画部長) 対象：受講者数 126名 (都内保育園・幼稚園の先生) 開催数：年 1回東京地区 効果：参加者の殆どが有意義なシンポジウムであったとアンケートで答えており、それを裏付けるように活発な質疑応答があった。本年よりホームページに詳細内容を掲載しており、全国の保育関係者でも活用が期待できる。		シンポジウム開催 趣旨：保育園・幼稚園の先生への啓蒙として保育園・幼稚園の先生方を対象したシンポジウムを開催し、小児医学・教育に関する啓蒙を行うシンポジウム内容は、機関誌「ふたば」に収録し、広く情報提供する。 開催日時：平成18年 1月 会場：東京都内 *シンポジウムの詳細内容を機関誌・ホームページで紹介 対象：(都内保育園・幼稚園の先生) 開催数：年 1回東京地区

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
- 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
73. (財)母子健康協会		機関誌「ふたば」発行 趣旨 :保育園・幼稚園の先生方を対象した機関誌「ふたば」を発行し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う 発行月日 :平成16年11月 発行部数 :14,000部 内容 :B6版77頁「子どもの心身を蝕む社会環境」子どもの腎臓病」言葉の問題と対応」等 対象 :全国の主要な保育園・幼稚園 13500ヶ所に贈呈 効果 :小冊子であるが、内容が充実して教科書代りに活用して頂いている。本年よりホームページに全文を掲載しており、全国の保育関係者の活用が期待できる。		機関誌「ふたば」発行 目的・内容 機関誌「ふたば」を発行し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う 発行月日 :平成17年11月 発行部数 :14,000部 内容 :B6版80頁、*記事の全文をホームページで紹介 対象 :全国主要な幼稚園 保育園 13500ヶ所に贈呈
75. 日本乳幼児精神保健研修研究会 「FOUR WINDS」			16, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51.52, 55, 58, 59	FOUR WINDS全国大会 目的・内容 : 乳幼児の精神発達とその歪み 乳幼児期の親子支援 虐待予防 虐待する親への支援方法 被虐待児の心の治療 将来の精神的混乱の予防 非行予防 犯罪予防 以上のテーマについて学ぶことにより、豊かな人材育成を培う 対象 :FOUR WINDS会員及び非会員 開催数 :年 1回
			16, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51.52, 55, 58, 59	FOUR WINDS乳幼児精神保健セミナー 目的・内容 : 乳幼児の精神発達とその歪み 乳幼児期の親子支援 虐待予防 虐待する親への支援方法 被虐待児の心の治療 将来の精神的混乱の予防 非行予防 犯罪予防 以上のテーマについて学ぶことにより、豊かな人材育成を培う 対象 :FOUR WINDS会員及び非会員 開催数 :年 3回
			16, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51.52, 55, 58, 59	全国各地でのFOUR WINDS活動(例 :長崎育児研究会、FOUR WINDS Kochi、FOUR WINDS富山 等) 目的・内容 : 乳幼児の精神発達とその歪み 乳幼児期の親子支援 虐待予防 虐待する親への支援方法 被虐待児の心の治療 将来の精神的混乱の予防 非行予防 犯罪予防 以上のテーマについて学ぶことにより、豊かな人材育成を培う 対象 :FOUR WINDS会員及び非会員 開催数 :年 3~ 4回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
75 .日本乳幼児精神保健研修研究会 「FOUR WINDS」			16, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51.52, 55, 58, 59	FOUR WINDS全国大会報告集(講演記録集)発行 目的・内容：乳幼児の精神発達とその歪み 乳幼児期の親子支援 虐待予防 虐待する親への支援方法 被虐待児の心の治療 将来の精神的混乱の予防 非行予防 犯罪予防 以上のテーマについて学ぶことにより、豊かな人材育成を培う 対象：会員 372名 配布数 約 400部
				NEWS LETTER of FOUR WINDS発行 目的・内容：乳幼児の精神発達とその歪み 乳幼児期の親子支援 虐待予防 虐待する親への支援方法 被虐待児の心の治療 将来の精神的混乱の予防 非行予防 犯罪予防 以上のテーマについて学ぶことにより、豊かな人材育成を培う 対象：会員 372名 配布数 約 750部 (372部×年2回)